

TOKYO URBAN TECH

校友会報

工学院大学



2011 vol.132

● 2011年。 工学院大学に、 日本初の[建築学部] 誕生。

A new school. A new way of thinking. Architecture reborn.

それは、「工学部」の枠から[建築]を解放し、
技術と芸術の高度な融合である本来の
[建築]に立ちかえること。
そして、大きく激しい社会の変化に
対応した、これからの、
新しい[建築]をつくりだすこと。

君たちは、自分が将来どんな仕事を
したいか、何になりたいか、今は
わからなくていい。
数学が少しくらい苦手でも、
都市より自然が好きでも、構わない。

[建築]を学び、その奥深さに気づき、
広大な知のフィールドを目にした時、
君の中にどんな興味や意欲や、
自信や夢が生まれるのか。

道を決めるのは、
それを待ってからでいい。

歴史と伝統の上に、
建築の未来を探して
——工学院大学は、先に行く。

「一級建築士試験」大学別合格者数、全国第4位(2010年度)

● 建築って、 なんだ？

What is Architecture?

建築 = 家を建てること **だけでは、ない。**

建築 = 理数系 **だけでは、ない。**

建築を学ぶ = 建築家になる **だけでは、ない。**

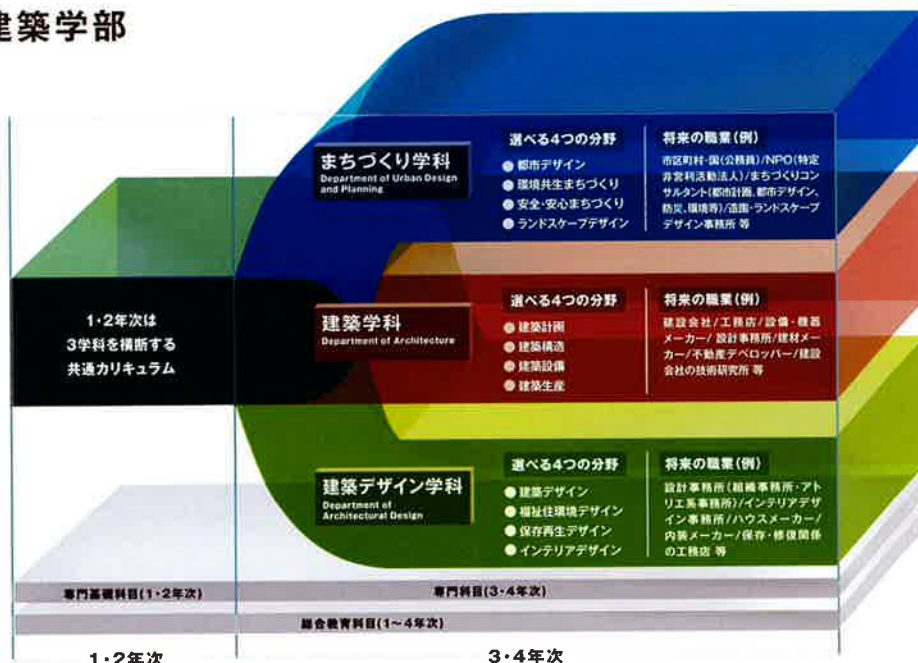
[建築]とは、いわば、人と人、人と自然、人とモノなどの関わりを
考え、人が生活する環境をよりよく変えてゆくこと。
住宅やビルなどの建物はもちろん、庭や公園といった外部空間、
さらには道路や駅などを含めたまち全体まで、すべて[建築]
の領域だ。そこには科学や数学だけでなく、社会科学やアート
など、多様で幅広い知識や技術が活かされている。
建築家をはじめ、さまざまな立場や職業の人々が、それぞれに
力を発揮しながら連携している。
——先入観や既成概念を捨ててみれば、
君にも本当の[建築]の世界が見えてくるはずだ。



お問い合わせ先 工学院大学広報部 03-3340-0126 <http://www.kogakuin.ac.jp/>

工学院大学

建築学部



● 有機的につながり、 刺激しあう、 3つの学科・12の分野。

Integrated multidisciplinary studies in Architecture

工学の枠組みにとらわれない、新しい建築教育の実現を目指す工学院
大学建築学部は、建築の多様性を踏まえた3学科・12分野を置く。
まちの新しいあり方を追求する「まちづくり学科」、安全で快適な生活の
場の構築に取り組む「建築学科」、建築の美しさ・機能性や環境配慮など
を考える「建築デザイン学科」。
これら3学科がゆるやかにつながり、刺激的な学びの場が生まれる。
専門分野を最初から決める必要はない。
1・2年次の専門基礎教育では、建築の多彩な魅力に触れることができる。
専門分野を見きわめるのは、それからでいい。



2011新春の集い

校友会情報

校友会卒業生バックアップセンター	2
校友会第17回全国大会／黒澤兵夫	7
校友会会長挨拶／高田 貢	8
新春の集い2011／岡安 彰	10
全国支部長会議／谷 政美	11
新任支部長紹介	12

学園情報

新理事長就任のご挨拶／高田 貢	14
学長のご挨拶／水野 明哲	15
校長挨拶／宮下 正昭	16
皆様、KISへお立ち寄りください／中澤 宣也	17

学園Topics 18

学校法人工学院大学創立125周年特別企画

日比谷「松本楼」と小坂梅吉／茅原 健	24
探偵小説と明治の築地／吉田 司雄	26

同窓会情報

平城遷都1300年祭平城宮跡会場全体整備計画 澤崎 宏	28
企業が求める人財とは／坂口 雅昭	30
未来に挑め 今 その時／合田 房雄	32
神様のお手伝い／小山 晃一郎	34

睡眠とその改善法／小林 敏孝	36
特殊クリーニング技術で使い古されたものが蘇る 土田 昭一	38

卒業生からの情報

シルクロードその豊かさと変貌の狭間／平井 實	40
------------------------	----

大学・校友会の事務局情報

学園創立125周年記念事業募金	43
校友子女特別選抜入学試験	44
校友教諭在職高校特別推薦入学試験	45
教員をなさっている卒業生・修了生の皆様	45
校友会各部の活動報告	46

校友会事務局からのお知らせ

校友会事務局からのお知らせ・お願い	48
「第66回評議員会・第55回総会」開催のお知らせ	49
記念講演会のお知らせ	49
学生・生徒の表彰報告	49
平成22年度事業報告、平成23年度事業計画(案)	50
平成22年度収支計算書、平成23年度収支予算書(案)	51
平成23年度支部総会開催予定表、 本部役員・支部長メールアカウント一覧	52
平成22年度貸借対照表、平成22年度財産目録	52
企画・広報部からのお知らせ 広告案内・表紙デザインの説明・編集後記	56



卒業から始まる

**工学院
卒業生専用!
高性能コミュニティ
Webサイト!**



工学院大学校友会

※「工学院卒業生」とは、学校法人工学院大学が設置した学校を卒業した全ての卒業生を指します。

登録・利用は全て無料!

会員登録はこちらから! 今すぐアクセス!

<http://www.sotsugyousei.com/kogakuin/>

工学院大学校友会 卒業生バックアップセンター

Google 検索

新規登録の方法は右記をご覧ください。▶

新規会員登録の手順をご説明します。ご登録はPCのアクセスによるWEBサイトで行ってください。(携帯からのご登録・ご利用とにもできません。)

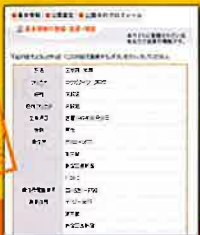
コミュニケーション機能満載!
すでに様々な年代の卒業生が登録しています!!

同級生検索機能や、違う学年の卒業生とも

交流できるコミュニティ機能が充実。

連絡先を聞き忘れた同級生や先輩、サークル仲間など

工学院学友との連絡にぜひご活用ください。



確認できる!

校友会に登録されている自分の情報を確認し、最新情報に変更することができます。



探せる!

連絡先がわからない友達や先輩を探せます! 「同級生かんたん検索」で同級生を一発表示!!

工学院大学校友会
卒業生バックアップセンター

OBのみならずのキャリアアップと、OB同士の交流を支援する、工学院大学卒業生専用のコミュニティサイトです。

卒業の向こう側に、
あたらしい出会いの場が
できました。



バックアップセンターでできること

卒業生を支えるふたつの「C」

コミュニティ

旧友とサイト上で連絡を取り合うことができる機能が充実!! たくさんの卒業生が登録しています!

工学院卒業生なら誰でも無料でサービスを利用できます!

キャリアアップ

工学院卒業生限定の求人情報サイトです。OBの有無や検索機能など、理工系の転職に最適!

ご利用にあたって

※工学院大学の卒業生以外の方は利用できません。また本サイトの登録・利用は一切無料です。
※コミュニティに置けるデータの開示は卒業生ご本人の同意を必要とします。またご利用登録のない卒業生の方とは交流できません。この機会に是非ご登録ください!

会員の方

ログインID

パスワード

ログイン▶▶▶

パスワードをお忘れの方

は

未登録の方

工学院生なら

だれでも無料で

会員登録!

Join us!

新規会員登録▶▶▶

理工系企業求人だの

採用する人材へ一躍

企業の採用活動に

ぜひお役立てください!

企業採用

ご担当者さま

関連サイト

工学院大学

KOGAKUIN UNIVERSITY

連絡できる!

メッセージ機能はメールアドレス不要! 相手のお名前だけで簡単送信! メッセージング機能は連絡網としても活用できます!!

交流できる!

コミュニティ機能で掲示板を簡単作成! 共通の話題や趣味の話、先輩の研究の話など、工学院OB同士で楽しく交流できます。



当サイトへのご質問については下記連絡先まで、お問い合わせください。

工学院大学校友会 卒業生バックアップセンター事務局 ☎ 03-5261-9790 ✉ kogakuin@optjapan.com

大学生活があります!!

卒業生バックアップセンター

Step1 まずはサイトにアクセス!

- 1 [卒業生バックアップセンタートップページ]にアクセス。
http://www.sotsugyousei.com/kogakuin/

画面右の「新規会員登録」ボタンをクリックしてお進みください。



未登録の方

工学院生なら
だれでも無料で
会員登録出来ます!

Join us!

新規会員登録>>

登録・利用はすべて無料!
登録は簡単!
3ステップ!!

Step2 本人確認

- 1 認証項目を入力する項目内容に
そって、情報を入力してください。
※項目は全て必須項目です。

Point! OB番号って?



校友会から送付いたしました、
校友会報の封筒宛名の下に記載
されている10桁の数字です。



OB番号	1120001022
氏名(漢字)	(姓) 工学院 (名) 太郎
フリガナ	(姓) コウガクイン (名) タロウ
卒業・修了年	2000(平成12) 年
学校種別	機械系
卒業学部	工学部第1部
卒業学科	機械工学科 機械工学コース

認証エラーの
場合は...

専用フォームからお問い合わせください

エラー表示にされた「お問い合わせ」ボタンをクリック。
「認証エラーお問い合わせフォーム」が開きますので、
必要事項記入のうえ、送信
してください。事務局にて登
録データ確認をいたします。

認証エラー

大変申し訳ございませんが、あなたの入力頂いた個人情報が、
大変お手数ですが、再度ご入力頂くか、下記よりお問い合わせ

お問い合わせ

ココをクリック!

氏名(漢字)	(姓) 工学院 (名) 学
フリガナ	(姓) コウガクイン (名) マナブ
卒業・修了年	2000(平成12) 年
学校種別	機械系
卒業学部	工学部第1部
卒業学科	機械工学科 機械工学コース
生年月日	西暦 1980 年 02 月 01 日
所属研究室	内閣研究室

- 2 認証が通りますと、仮登録画面に
なります。IDに使用したいメール
アドレスを入力してください。認証
完了されると、登録されたメール
アドレスに本登録案内を自動的に
通知いたします。

ようこそ、工学院 学機

ログイン用仮パスワードを発行しますので、現在お使いの自分のメールアドレスをご入力ください。
このメールアドレスが今後のログインIDとなります。
なお、ご希望のメールアドレスが今後のログインIDとなり、卒業生バックアップ
センターからの卒業生向け情報発信の仮登録メールの通知となります。
※IDとなるメールアドレスはいつでも変更が可能です。

ID(メールアドレス)

※確認のため再入力してください。

認証完了!!

認証が完了しました
ご入力いただいたメールアドレス宛にメールを送りましたので、おちからご登録手続きを行っ
てください。

本登録へ!!

Step3 本登録

「Step2」で登録したメールアドレスに届いた、
仮パスワードと登録ページのURLから登録してください。

※パスワードは、大文字と小文字を区別
していますのでご注意ください。



- 1 仮ログイン

登録したメールアドレスと仮パ
スワードでログインし、利用規
約に同意の上、お進みください。

- 2 基本情報登録

基本情報の登録を行ってください。
ここで、登録した情報はログイン後
に変更することができます。

- 3 基本情報登録確認

基本情報の確認を行います。よろし
ければ登録を、修正されたい場合は
戻るをクリックしてください。

- 4 会員登録完了

会員登録が完了しました! ロ
グインするとサイトの全機能
を自由にお使いいただけます。

登録完了!!
ログインして
活用しよう!

株式会社 デーマグ

当社は 1990年創立で、
『地球環境を大切に』をモットーとし、
資源、エネルギーを守り、
自然環境に貢献する
磁気装置の専門会社です。

※商品紹介：1. 永久磁石式アルミニウム溶解炉攪拌機
：2. 選択帯電型静電選別装置
：3. その他 1). 廃棄物関係 12 種類
2). 水関係 7 種類
3). 大気関係など

※特許件数：59 件

※主な取引先：新日鐵、トヨタ自動車、東芝など

※海外支社：米国・中国・韓国

※海外工場：中国杭州(2005年に中国との合弁会社
設立：資本1億・社長：高橋謙三)

CAD設計技術者および開発技術者募集

何なりとお気軽にご相談下さい。とにかくアクセスしてみてください。

所在地：〒277-0941 千葉県柏市高柳1143-3 (東武野田線・高柳下車徒歩3分)

sales@zmag.co.jp

代表取締役 高橋 謙三(本学機械工学科1970年卒)

TEL: 04-7193-1620 FAX: 04-7193-1621



く
つ
ろ
ぎ
、
味
わ
い
、
楽
し
む
。

ホテルのあたたかさ
感じてください。



 京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL. (03) 3344-0111

<http://www.keioplaza.co.jp/>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」 「西新宿駅」より徒歩5分
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ



おかげさまで、日立グループは創業100周年



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

HITACHI
Inspire the Next

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

◎ 株式会社 日立製作所 〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 電話 (03) 3258-1111(大代)

来校の節は是非お立ち寄り下さい。懇親会も出来ます。
これからも宜しくお願いします。



新宿キャンパス 7階の食堂
(懇親会は8階ファカルティクラブでも開催可能)

新宿食堂部 Tel03-3348-0147



八王子キャンパス学生センター
800席の広い食堂

八王子食堂部 Tel042-626-3782

工学院大学学園生活協同組合

本部Tel03-3346-3240 FAX03-3342-0980

e-mail: seikyo@kucoop.or.jp <http://www.coop-bf.or.jp/kogakuin>

ゆとり有る豊かな

社会の実現への貢献

主な商品

- 電気部品材料(各種電気接点およびクラッド材料)
- 電子部品材料(金ボンディングワイヤー、封止材、各種ペースト)
 - 触媒(燃料電池、脱臭)
- 貴金属化合物(自動車排気ガス浄化触媒、めっき浴)
 - 各種めっき浴およびめっき装置
- 各種産業用白金製品(ガラス関係装置、理化学機器用製品)
 - 医療関係(制癌剤用白金族化合物、マーカー)
- 各貴金属リサイクル(使用済み製品より貴金属回収・精製)

身近な使用例

携帯電話の機能で、バイブレーターがあります。
4ミリ位のモーターを使用しています。
そこに使用されている小さなブラシはほとんど弊社のものです。

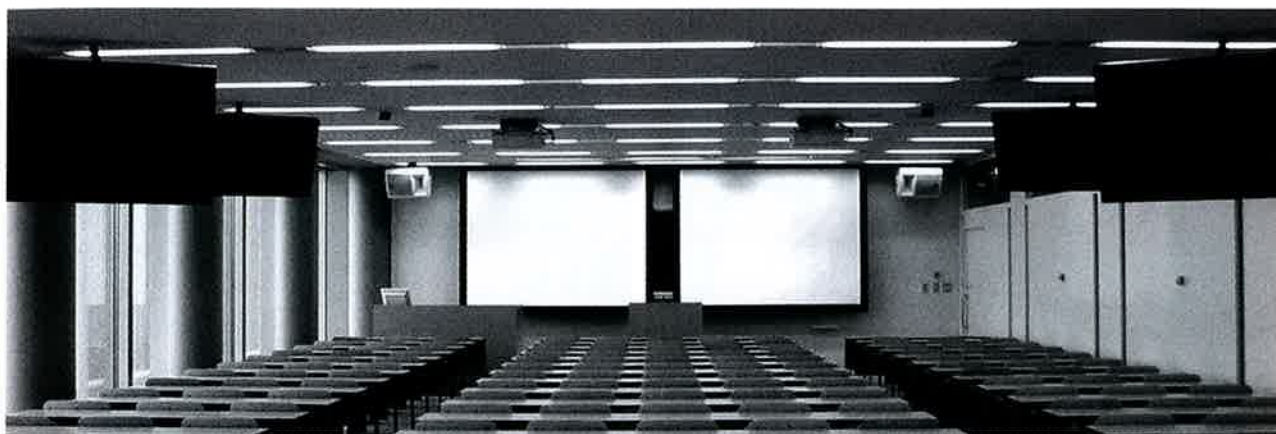
田中貴金属グループ



田中貴金属工業株式会社

〒100-6422 東京都千代田区丸の内2丁目7-3
東京ビルディング22階
TEL (03) 6311-5511(代表)
■0120-266011
URL: <http://www.tanaka.co.jp>

「存在感」のある「技術」で、AVシステム業界をリード



ESC 映像システム

<http://www.eizo-system.co.jp>

・本社
東京都文京区本郷 4-8-13 T.S.Kビル
TEL 03-3818-6911(代表) FAX 03-3818-6944
・大阪営業所
大阪市淀川区西中島 6-1-15 アセンズ新大阪
TEL 06-6304-0829 FAX 06-6304-6851

・京都営業所
京都府京都市下京区七条通新町西入夷之町 697 小川ビル
TEL 075-280-6911 FAX 075-280-6912
・福岡営業所
福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル
TEL 092-476-3177 FAX 092-476-3172

工学院大学校友会第17回全国大会 2011.10.8

実行委員長 黒澤兵夫

我が母校の先輩・後輩・仲間と集おう！未来に向かって話そう！！

の埼玉大会 校友 母校に集おう！！



平成23年3月吉日

参加費：会員8,000— 同伴者/家族5,000— 学生4,000—

式典当日(平成23年10月8日)

- ・校友の憩いの会(10:30～13:15 新宿キャンパス28階)
- ・式典(14:00～14:35 アーバンテックホール)
- ・講演(14:40～15:40 アーバンテックホール)
「渋澤 栄一翁の起業家精神」
埼玉県生誕、幕末の幕臣
我が母校と関わりが深い実業家
記念館：渋沢雅英館長(曾孫)の講演
- ・記念パーティ(16:00～18:00 アトリウム)
- ・オプションツアー(10月9日 鉄道ミュージアム・小江戸)
(10月9～10日 秩父・長瀬等)



盆栽美術館(さいたま市)

時の鐘(小江戸川越)

新企画 第17回校友会全国大会・埼玉大会で初めて試みる行事、プロローグ「各種の懇親会」

1. 6同窓会(学科別) 2. クラス会(学科・卒年別) 3. OB会(運動/文化部・研究室・先生方等)
4. 趣味の会 5. 学生発表(BCP, JABEE)

**和太鼓・軽音楽・演歌歌手の競演そして大抽選会、
話題豊富で皆様の参加お待ちしております！**

工学院大学校友会会員各位

埼玉大会 校友母校に集おう！！

埼玉大会・プロローグ「各種の懇親会」のご案内

平成23年3月吉日

全国大会・埼玉大会実行委員会

第17回校友会全国大会・埼玉大会で初めて試みる行事、プロローグ「各種の懇親会」について
その概要とあわせてサンプル事例を紹介いたします。

開催日時 10月8日(土) 10時30分から13時15分の間、フリータイム

場 所 新宿校舎 28階の会議室を中心に希望に応じて教室を開放・提供

ご提供品 お昼の軽食とお茶等のお飲み物を提供

事前申込み 別紙申込書による、申込み期限 8月末日までに実行委員会宛 (jimu2@kogakuin.or.jp)

事例紹介 一部進行中のものも含む

〔事例1・同期会の開催〕

昭和37年機械工学科卒業の同期会。ここ数年関東地区在住者で、ゴルフや一泊旅行を実施。

今年はこの機会を捉え全国の同期に声掛けをして30人規模の同期会開催を準備中。

〔事例2・同窓会行事の開催〕

機械系同窓会は毎年この時期に「秋の集い」として講演会や学生プロジェクトの報告会を実施してきた。今年は全国大会との同時開催としてこの時間を活用する。内容は研究室訪問や学生プロジェクトとの懇談等を検討中。

〔事例3・支部総会等の開催〕

現在福島県支部から支部総会開催の申請あり、また複数の支部で支部懇談会等の計画が進行中。その他、支部間の交流の場としての活用も期待したい。

〔事例4・研究室の集い〕

指導教授を囲む研究室単位のOB会や現役学生との交流会、ECPや新学部を紹介等。

〔事例5・部活動単位の同窓会の開催〕

体育会・文化会問わず、部活単位の集いや現役との交流会、激励会の開催。

〔事例6・校友会会長または学園関係者を囲む懇談会〕

学園の現状や取り巻く環境と将来展望について語り合う会、希望者(20人以上)が多ければ実行委員会を設定。

〔事例7・趣味の会の発表・展示会や懇親会〕

写真同好会や俳句の会等、趣味のグループの発表・展示会や集会の開催

〔その他・ご希望があれば実行委員会へご相談下さい〕
以上

工学院大学校友会 会長挨拶



光陰矢の如し21世紀も10年が過ぎ今、日本は明治維新、第2次世界大戦の敗戦等、危機的な状況を奇跡的に克服し世界第二位の経済大国になるまで発展してきました。しかしその地位も残念ながら中国に明け渡すことが現実となっております。

先般、NHKの報道特集番組で英国のヘンリー・トリックス氏が「ジャパン・シンドローム」という造語を用い、現在日本が抱えている大きな問題として、有史以来、戦争、飢饉、疫病等の要因以外で人口が急速に減少し、高齢化社会に突入した国は日本が初めてであり、世界がその成り行きを注目しているとの指摘です。また、この少子高齢化がもたらす経済や社会現象の低迷がスパイラル的に進行すれば国力の弱体化をもたらし、手を拱いていると国家の破綻の危機さえあり得るとの警鐘でありました。

進化論で有名なダーウィンも「生き残るのは最も強い種ではない。最も賢い種でもない。環境(変化)に最も敏感に反応する種である」との言葉を残していますが、この教訓に基づけば個人も国家も、実業界や教育界もタイムリーに変化に対応しなければ生き残れないことになります。現に我々を取り巻く環境は先例がない大変化の時代に立っていると言っても過言ではないでしょう。

大学教育に於いても18歳人口が1992年度の

205万人から現在120万人まで減少し、その間、大学の数では523校から778校に増えております。そして2019年頃からは再び底が見えない18歳人口の減少期に入ることが予測されています。このような大競争時代を迎え母校、工学院大学が生き残り発展するためには、受験生や就職先から評価され選ばれる大学にすることが求められています。従って、歴史や伝統に頼ることなく、将来を見据えた新時代の大学へと変革させることが急務となっております。

私達校友会も母校に関心を持ち校友会組織や活動を通じ母校をバックアップすることが学園の社会的評価を上げる要因となり貢献することになります。

校友会も国が進めている公益法人改革の一環として一般社団法人への移行を決定しております。これを機に慣習や慣例にとらわれない時代に相応しい「校友による校友のための校友会」へと構造改革を断行し、多くの老若男女会員から支持され活動に参加してもらえる校友会に変革させる絶好の機会であります。

現在校友会が主催し会員が集うイベントには、毎年1月の第2日曜日に開催している「新春の集い」、5月の「定時総会と懇親会」、「各支部の定期総会と懇親会」、そして3年毎に開催する「全国大会」



校友会会長
高田 貢



等があります。本年も1月9日に「新春の集い2011」が開催され、330人の校友が新宿キャンパスに集い有意義な会員相互の親睦をはかることができました。

また、本年は全国大会開催年であり、「埼玉大会・校友母校に集う」とのキャッチフレーズのもと、10月8日(土)に新宿キャンパスに於いて埼玉大会を開催いたします。母校で開催するメリットを生かし、多彩な趣向が全国大会実行委員会の企画により準備されておりますので、校友の皆様におかれましてはご家族同伴の上、お気軽に多数参加していただき盛大な大会となりますことを願っています。

近年の情報化社会の到来により情報手段が大きく変化しています。校友会も時代のニーズに沿った「工学院大学校友会ホームページ」を開設し、会員に対する情報の提供をしていることはご承知の通りです。また、校友会事務局、役員、支部長間には電子メールアドレスを設定し、双方向通信システムが確立されております。

会員相互の交流手段については名簿や電子メールアドレス開示の要望もありますが、個人情報保護法順守により特例を除き基本的には開示しておりません。この対応策として、昨年5月に「卒業生バックアップセンター」をインターネット上に開

設し、運用を開始しております。このシステムは校友会員(卒業生)のみ登録可能な個人情報保護に配慮したシステムであり「校友会ホームページ」から登録すれば登録会員同士のコミュニケーションやその他のサービスが受けられます。このシステムの活用により同級生や同窓生間での、仕事、趣味、その他の情報交換が可能となります。「卒業生バックアップセンター」が校友相互の新しい交流の場となれば幸いです。

校友会も新年度を迎え新事業計画にもとづき活動して参ります。今期も会員の皆様方のご協力よろしくお願いいたします。



新春の集い2011 開催される



「新春の集い」が毎年1月の2回目の日曜日に開催されることが浸透して来た事、同窓会ごとにきめ細かく呼びかけた事で、1階アトリウムで開催された新春の集いには、300人を超える校友を迎え、和やかな雰囲気で行われました。

劇団女優石田由起子さんの司会により進行は滞りなく行われ、校友会高田会長の挨拶では125周年記念事業募金のお願い、第17回全国埼玉大会への参加のお願い等、今後校友の参加で盛り上げて行く課題が述べられました。また来賓挨拶では学園夢企画についての現状説明がありました。

アトラクションには工学院大学附属中・高校吹奏楽部の生徒を迎えました。いろいろなコンクールで金賞、銀賞を頂くだけあって、レベルの高さには驚きました。演奏に、ダンスにと盛り上がり、参加者全員でのふるさとの熱唱は圧巻でした。アンコールの声援に幾度と無く応え暖かい雰囲気で終始しました。彼らは何れ校友会に加入する事になりますが、その意味ではALL校友で開催された新春の集いで良かったと思います。

抽選会では、校友からの提供品はじめ iPad 等豪華景品のため、抽選券を手にした校友が、番号が読まれると

自分の数字を確認して歓声、落胆の表情で会場は埋められました。

今年も前日から床暖房を入れて頂くなど柴田施設部長様他法人関係者にご協力を頂き快適に歓談が出来た事、紙面をお借りして御礼申し上げます。また校友園木さんがその時の模様を写真に撮ってくれております。校友会HPに掲載しておりますので、入手希望の方は校友会事務局までご連絡下さい。

組織・事業部 理事 岡安 彰



校友の交歓(1)



附属高等学校吹奏楽部の皆さん



校友の交歓(2)

全国支部長 会議



支部長会の集合写真

今年も恒例の全国支部長会が開催されました。

- 1、開催日時／11月2日(火)13時～17時
- 2、場 所／新宿校舎28階第1・2会議室
- 3、参加者数／支部長:40名オブザーバ:2名
- 4、三役座長:志村豊氏(湘南支部長)
副座長:高崎宗利氏(広島県支部長)
書記:石田英雄氏(愛知県支部長)
- 5、審議事項
 - ①「第17回全国(埼玉)大会の支援について」
 - ②理事会諮問事項「校友会一般法人化への移行と支部の位置付けについて」

支部長会に先立ち、11名の新支部長に高田会長より委嘱状が手渡され、夫々抱負が述べられました。

13時30分頃より審議に入り、志村座長の手際の良い進行により、順調に審議が進められました。

審議事項①について、黒澤実行委員長より趣旨説明の後、各支部長から積極的な意見が出され、最終的には全支部長が全面的に支援・協力するとのことで一致しました。

審議事項②について、高田会長より現状について説明があり、各支部長から熱心な質問がありましたが、会長より大変重要なテーマであり、今後、検討委員会を設け

て、支部の意見も十分吸収しながら、慎重に進めて行く旨の発言があり、継続審議とすることになりました。閉会後の懇親会では、研究室やクラブ活動から共通の友人を知っていたりで、初対面でも百年來の友人の如く懇談。また仕事の話や退職後地元でボランティア活動をしている等、未だ意欲衰えずの感じで頼もしい限りでした。

校友会の発展は、校友同士のご近所つきあいである支部活動の活性化が何よりの原動力であります。

支部長にはリーダーシップを益々発揮して頂き、スムーズに一般社団法人化に移行できることを願った支部長会でした。

組織・事業部 副部長 谷 政美



新支部長の紹介



会議の様子



委嘱状の手渡し

新任支部長 紹介

校友会本部・支部役員等名簿が、平成22年11月に更新されました。

前年の11月以降、11の支部で支部長の交代がありましたので、「新支部長の紹介」を取り上げました。以下に「新支部長のプロフィール」を掲載します。

内容は、氏名、卒業学科、卒年、元職・現職、趣味、座右の銘、支部に対する抱負などです。

各支部長の今後のご活躍を期待いたします。



宮城県支部 支部長プロフィール

鈴木 良平

すずき りょうへい

大学電気工学科 1962年卒
元・東北電力(株)

趣 味／旅行、写真、海釣り

座右の銘／特に無い

支部に対する抱負／

融和で魅力的な支部づくりを
目指す。



栃木県支部 支部長プロフィール

齊藤 秀夫

さいとう ひでお

大学電気工学科 1964年卒
元・栃木県立宇都宮工業高校教諭

趣 味／小笠原での魚釣り、
野球、テニス、スキー

座右の銘／汗を流す

支部に対する抱負／

年に数回、温泉旅館で懇親会を行い
身近な付き合いが出来るような
親睦を計りたい。



神奈川横浜支部 支部長プロフィール

白柳 敏行

しらやなぎ としゆき

大学建築学科 1963年卒

趣 味／絵画

支部に対する抱負／

会員の多くが集えるような
縦横の連携を強めたい。

校友会組織の一翼として活動
できるようにしたい。



神奈川西湘支部 支部長プロフィール

菊地 敏夫

きくち としお

附属高等学校機械科 1958年卒

現・(有)菊地光学精機製作所代表取締役

趣 味／スキューバダイビング、釣り

座右の銘／明るく、楽しく、元気よく

支部に対する抱負／

諸先輩方が築き上げてきた
西湘支部活動を会員皆様の
協力のもと、継続していきたい。



山梨県支部 支部長プロフィール

辻 好文

つじ よしふみ

大学建築学科 1969年卒

現・山梨建設(株)専務取締役

趣 味／スキー、
スキューバダイビング、
ゴルフ、尺八

座右の銘／誠意

支部に対する抱負／

後援会と協力して卒業生の
ための就職活動を支援したい。



愛知県支部 支部長プロフィール

石田 英雄

いしだ ひでお

大学機械工学科 1970年卒

現・豊田ヤングオールド・サポートセンター

趣 味／竹とんぼ、けん玉

座右の銘／Let It Be! (あるがままに)

支部に対する抱負／

先輩方が築いてきた愛知県支部活動
を尊重した上に、泥臭いことを
地道に実行していき世代交流できる
環境を作り上げていこうと考えています。



**三重県支部
支部長プロフィール**

川原田 正男

かわらだ まさお

大学建築学科 1970年卒
現・匠 空間工房 代表取締役
趣 味／庭木の手入れ
座右の銘／無理をせず明るく
支部に対する抱負／
一人でも多くの参加を



**広島県支部
支部長プロフィール**

高崎 宗利

たかさき むねとし

大学工業化学科 1960年卒
現・広島県安芸郡熊野町選挙管理委員会委員
趣 味／ゴルフ（年間約30回出場）
座右の銘／専門、経験、気遣い、人脈、情報

支部に対する抱負／先輩が苦勞されて県内の同窓名簿を作られたことにより、集いが活性化し全国大会を2度も開催した体制であったが、現在は高齢化もあって集いも低迷の傾向が著しい。若い同窓の参加が課題であり今後は連携の水平展開を図る努力をしてゆく。



**高知県支部
支部長プロフィール**

森 薫

もり かおる

大学工業化学科 1978年卒
現・(有)テラー級建築士事務所代表取締役
趣 味／郷土(土佐)歴史研究
ビートルズコピーバンド
座右の銘／悠々として急げ

支部に対する抱負／県下には100名余の同窓生があり、年一度の支部総会に15名程度の参加が有る。段々高齢化しており、今後は若い方を募って元気ある支部にしたいと思っている。



**佐賀県支部
支部長プロフィール**

中野 昭則

なかの あきのり

大学建築学科 1969年卒
現・(株)中野建設 相談役
趣 味／マラソン
支部に対する抱負／

今年の県内の支部の集まりは残念ながら3名でした。同窓生の名簿には県内在住同窓生は35名居られることが判り、次回は10名の参加を目標にしたいと考えています。



**大分県支部
支部長プロフィール**

渡邊 光治

わたなべ みつはる

大学電気工学科 1968年卒
現・(社)大分県専修学校各種学校連合会
事務局長
趣 味／夏山登山、ウォーキング
座右の銘／礼儀、感謝、奉仕

支部に対する抱負／支部活動の活性化を図り、総会等の参加者増員策と横の繋がりを広める努力を行う。具体策として、研修会、ゴルフ大会の企画、懇親会の開催など。



工学院大学

理事長就任のご挨拶



高田 貢

本年3月、学園の理事会が改選期を迎え、大橋前理事長が任期満了を機に退任されることになりました。その後任として私が母校、学校法人工学院大学理事長の大任を拝命することとなり就任いたしました。正に晴天の霹靂ではありますが、微力ながら専心職務に精励いたす所存でございますので、校友の皆様におかれましては引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本学園は工手学校創立以来関東大震災、第二次世界大戦等々、幾多の困難な時期を不撓不屈の建学の精神で乗り切り発展してきました。しかし近年、我が国において世界でも先例のない少子高齢化時代を迎え中高、大学、大学院、各種学校等の修学人口が年々減少し、学校間の受験生の争奪戦が激化、優勝劣敗時代に突入しております。このような厳しい外部環境下で、学校法人工学院大学がこの難局を乗り切り大競争時代に勝ち残るためには、環境変化を直視した思い切った改革が必要となっております。その一環として推進されてきました第三次中期計画「ダッシュ21」も初期の目的を達成し前期末で終了いたしました。引き続き、新たに中期計画を策定し、さらなる構造改革を教職員および学園関係者が一丸となり推し進めなければなりません。そして学園の社会的評価の向上に努め、意欲ある多くの学生・生徒が志望してくれる魅力ある学園に脱皮することが急務となっております。

校友会の皆様には本学園を卒業したことに誇りを持って社会で活躍し、貢献していただくことが、学園の社会的評価を向上することになります。また、学園や校友会活動に積極的に参加していただくことも、後輩となる学生・生徒および学園に取って大きな支えとなります。

来年は、いよいよ学園創立125周年を迎えます。記念すべき学園の節目の年を迎えるにあたり、教育研究環境整備事業、学生・生徒の自主的活動支援事業、地域社会支援事業、学園史編纂事業、記念講演会・記念式典等の記念事業計画を着実に遂行し、教育環境の充実と、さらなる飛躍への礎を構築する所存であります。校友会の皆様におかれましては趣旨にご賛同いただき、募金をはじめ記念事業に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたびは、私の理事長就任に伴い校友会長の任を道のなかばで辞することとなり、校友会にご迷惑をお掛けすることは誠に遺憾に存じます。どうか新たに選任される会長のもとで一般社団法人への移行を実現させ、工学院大学校友会がますます発展することを切に願っております。

未来に向かう大学を目指して

創立125周年を来年に控えた工学院大学において、このような時期に学長をさせていただくのは光栄と言うべきか、感慨を感じます。幾多の苦難を乗り越えてこられた先輩方に頭の下がる思いですが、何といたっても創立者渡邊洪基の先見性と熱意には改めて尊敬の念を深くします。いま、文殊谷康之著「渡邊洪基伝」を読み返してみても、改めてその凄さを実感します。

築地の工手学校が関東大震災で壊滅したあと、新宿淀橋の地で1928(昭和3)年に建てられた鉄筋コンクリートの立派な校舎は、私が1979(昭和54)年に着任したときにはフルに活用されていました。旧館と呼ばれていたその建物を壊し、地上29階地下6階の高層棟が完成したのは1989(平成元)年のことです。このときは、誰もが「こんな素晴らしい校舎ができたのだから受験生もどんどん集まり大学は発展するに違いない。」と思いました。しかし実際にはそれほどの魅力をアピールできず、最近の少子化もあり、やや苦戦を強いられているのが実情です。

それではどうすれば強い大学になって、未来に向かうことができるのか、そんなことを日々考えています。校友の皆様多くは民間企業に勤めておられるものと思います。学校法人が運営する大学は、法律で守られていて、のんびりしていても大丈夫だと思っている人が中にはいるのではないのでしょうか。それは大きな間違いで、受験生が集まらなくなって定員割れを起こしたら倒産してしまう、という点では民間企業と同じなのです。大学も民間企業と同じセンスで経営しなければならない、ということです。

我々が今やるべきことは、一方で大学の尊厳や見識を持ちながら、他方で企業的センスをもって大学の経営を進めること、構成員一人々が意識をそろえて時代の変革に耐える組織作りをすることです。もうぬるま湯につかっているはいけないのです。みんながベクトルの方向をそろえることが何にもまして大切です。

そのためには、社会で活躍中の6万5千とも言われる校友の皆様方から大きなご支援を期待するものです。校友の皆様からは「大学が何をしてほしいのかを意思表示してほしい。」との声を聞くことがあります。全くその通りで、大学の発展のため、校友の皆様をお願いする事項をとりまとめることがさしあたっての私の責務だと思っております。その節は、「母校のために一肌脱いでやろう。」と言っていただけることを期待しております。皆様のご発展を祈りつつ。

学長のご挨拶



水野 明哲



工学院大学附属中学・高等学校

校長挨拶



宮下 正昭

新学期を迎えましたが、校友会の皆様にはつつがなくお過ごしのことと拝察いたします。日頃から本校に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

附属高等学校は今年で創立64年を迎え、中学校は開校して16年目を迎えました。高校は男女共学になってちょうど10年になります。本校は60年余りの間に大きく様変わりしました。高校を卒業して就職する生徒はほとんどいなくなり、卒業生全員が大学や専門学校に進む進学校にかわりました。また分野も理系のみならず文系が約5割を占めるとともに、医歯薬系、看護、保育なども増え多様化しています。進学実績も年々国公立大学への合格者が増えるなど確実に伸びています。工学院大学への進学についても大きな変化が現れました。以前は50%以上が工学院大学へ進学しましたが、年々他大学への入学者が増え、ついに2年前に逆転しました。今後、高大連携の強化と実行化が重要な課題と考えています。

本校は勉強のみならず部活動も盛んです。昨年の主な成果をあげますと、中学3年の有路友紀さん(水泳部)が第19回フィンスイミング短水路日本選手権(200m)で優勝し、フィンユース世界選手権大会の日本代表に選ばれました。またこれらの活躍が高く評価され、平成22年度東京私立中学高等学校協会表彰を受けました。本校にとって大変名誉なことであり誇りに思います。また高校2年の佐藤拓実君は、第66回国体冬季大会アイスホッケーの東京代表メンバーに選ばれ、ベスト8進出に大きく貢献しました。他の部活動も立派な成果をあげました。硬式野球部は夏の甲子園西東京大会ベスト16まで進み、神宮球場まであと1勝のところまでいきました。サッカー部と柔道部もインターハイ都予選ベスト16まで進みました。剣道部は東京都高等学校秋季剣道大会でベスト8に入り敢闘賞を受賞しました。一方、文化部は吹奏楽部が第50回東京都高等学校吹奏楽コンクールA組の部「銀賞」を受賞、また中学校演劇部は第37回東京私立中学校演劇発表会「特別賞」を受賞しました。このように生徒諸君が部活動の面でも立派な成果をあげ、本校の名を高めてくれたことは嬉しい限りです。以上が中高の近況です。

校友会の皆様には附属中学・高等学校のさらなる発展のため、引き続きご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

皆様、KISへ お立ち寄り ください

「KIS」とはKogakuin University Information Satellite(工学院大学情報サテライト)の略称です。本年1月末から、新宿校舎に隣接する

STECビル地下1階、地下道に面した良く見える位置に開設されました。丸善ブックメイツの跡地とえばおわかりかと思います。写真のように、総ガラス張りで外からも洒落た雰囲気オープンスペースが窺えます。まさに、一般社会に広く開かれた空間です。KISは、大学の情報受発信基地であり、大学の社会連携拠点です。

2008年にスタートし中層棟4階に開設したエクステンションセンターも、この機会にKISに受付や語学教室等、主たる機能を移し生涯学習機会を提供しています。エクステンションセンターには、工学院大学オープンカレッジ(朝日CCとは緩やかな提携に改め、名称を変更しました)、孔子学院、CPDセンターの三つの組織があり、様々な講座を提供しています。宇宙やIPS細胞などの最新の話題が用意されたサイエンスカフェ、学園創立125周年に因んだ講座、中国語や中国の現状をまるごと理解



する講座、最新の情報セキュリティ技術者養成講座等、幅広い分野をカバーし、皆様のご参加をお待ちしています。

また、校友の皆様はKISをお気軽にご利用いただけるよう、工夫して参ります。一般の学外者も含めて多くの方がKISに立ち寄られ、本学の活動に関心をもち「工学院大学ファミリー」が増えていくよう、例えば、校友各位の自慢の写真や絵画、書、本学にふさわしい特徴ある先端機器、あるいは科学・技術のおもしろさを手にとって実感できる仕掛け、そういった様々なものを展示し、楽しい空間にしていける所存です。

もちろん、同窓生、ご家族やご友人との待ち合わせ場所としても是非ご利用ください。多くの校友の皆様と、KISでお目にかかることを楽しみにしております。また、KISの利用について、斬新なご提案をお待ちしています。



KIS正面受付



文責:エクステンションセンター
センター長 中澤 宣也

連絡先:事業部

メール / jimu1_jigyousc.kogakuin.ac.jp
電話 / 03-3340-1457

「TKK助け合い連携センター」を開設



本学と東北福祉大学、神戸学院大学との3大学連携プロジェクト「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」における「TKK助け合い連携センター」を、1月15日、新宿キャンパス内に開設いたしました。

中尾真一教授が 化学工学会会長に就任

工学部環境エネルギー化学科の中尾真一教授が、化学工学会第54代会長に就任しました。任期は2010年4月～2011年4月までの1年間です。

マイクロソフトと全学包括ライセンス契約を締結

I T利用環境の強化、学生サービスの向上、そして学生の情報教育と研究基盤の強化を目指して、マイクロソフト(株)と包括ライセンス契約を締結しました。今回の契約により、学内に設置さ

れた教育用・研究用等の全PCはもちろん、一定の条件のもと自宅等の個人所有のPCに対しても、ソフトウェアライセンスの提供が可能となりました。

ダナン工科大学と 大学間学術交流協定書に調印

4月30日、ベトナム・ダナン工科大学において、本学とダナン工科大学との大学間学術交流協定調印式が行われ、東南アジア地域で最初の協定校が誕生しました。この調印により、本学の学術交流校は16校となりました。



高校サッカー部が東京都大会ベスト16！

4月25日～5月22日にかけて、高校サッカーのインターハイ東京都予選が行われ、本校サッカー部がベスト16に入りました。東京都予選は、昨年度に引き続き2年連続の出場で、青山

学院高校、学芸大附属高校に勝利しましたが、武蔵高校に敗れ、ベスト8進出はなりませんでした。しかしながら、都大会ベスト16は約40年ぶりの快挙です。

工学院大学から世界チャンピオン誕生！！

7月4日～8日に韓国清州市で、約90の国と地域が参加して開催された「ITFテコンドー世界選手権大会」に大和田聖さん(工学部応用化学科4年)が出場し、型初段の部にて見事優勝しました。



中学校演劇部が東京私立中学校演劇発表会で特別賞を受賞！

中学校演劇部が、7月18・19日に行われた「第37回東京私立中学校演劇発表会」で特別賞(第3位相当)を受賞しました。この発表会は、東京都全体で16校が参加し開催され、本校演劇部は、創作劇『私のなかで、あなたは嗤う』を上演しました。





鳥人間コンテストにB.P. Wendyが出場！

7月24・25日に滋賀県彦根市松原水泳場にて行われた「第33回鳥人間コンテスト選手権大会2010」に、学生プロジェクト「Birdman Project Wendy」が出場しました。「人カプロ

ペラ機ディスタンス部門」全13チームの4番目に離陸！残念ながら、揚力不足で約30m付近で着水しました。

高校硬式野球部が西東京大会ベスト16！

大学硬式野球部は、第92回全国高等学校野球選手権大会西東京大会において、町田工業高校、武蔵高校、東大和高校と勝ち続け、ベスト16に

入りました。本校硬式野球部の西東京大会ベスト16は、2005年（第87回大会）以来5年ぶりです。

大学職員が工学・工業教育研究講演会にて "Best Presentation Award"を受賞

8月20日～22日、日本工学教育協会が主催する工学・工業教育研究講演会が開催され、本学職員の石川敬史さんが、発表題目「工科系大学における情報検索演習のアウトカムに関する予備

的考察」で、講演総数380件中の3件に選ばれ、「Best Presentation Award」を獲得しました。



大学鉄道研究部が群馬を走る！

大学鉄道研究部は、前身となる鉄道研究同好会の活動開始から数えて、今年で5年が経ちました。これを記念して、8月22日に上毛電気

鉄道にて、1928年製のデハ101に工学院大学ロゴマークをつけた貸し切り列車を運行しました。



学生フォーミュラがスポーツマンシップ賞を受賞

第8回全日本学生フォーミュラ大会(主催:日本自動車技術会)が、静岡県小笠山総合運動場公園エコパで9月7日～11日の5日間開催され、大学学生フォーミュラプロジェクト(工学

院大学レーシングチーム)は完走し、さらにスポーツマンシップ賞を受賞しました。過去最多85チームのエントリーがありましたが、本学チームは17位と大幅に躍進しました。

本学、東京医科大、東京薬科大の3大学で 医薬工連携協定を締結

本学と東京医科大学、東京薬科大学の3大学は、医薬工連携による教育・研究活動の推進に関する協定を、9月17日付で締結しました。本協定により、3大学の特長を活かして、医学、薬学および工学の連携による広範な教育・研究を共同で進めていきます。



F3RC大会で、大学HRPの「微熱39℃」チームが優勝

9月26日に本学新宿キャンパスで開催されたF3RC 大会 (FreshmanによるFreshmanのためのRobot Contest) において、大学HRP (八王子ロボットプロジェクト) の「微熱39℃」チームが優勝、「hcR」チームがベスト8、また「志倉セカンドストーリー」チームがデザイン賞を受賞しました。



文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択

大学が申請していた取組“学生と社会をつなぐ就業力育成プログラム”が、平成22年度文部科

学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました。

中学校バドミントン部が八王子市でベスト4!

中学校バドミントン部が、10月9・16・17日で行われた八王子市中学校体育連盟主催の秋季新人大会・個人戦において、男子シングル

ス3位・4位（2名入賞）、男子ダブルスでベスト8、女子ダブルス3位に入賞しました。

長野県諏訪市において「出張理科教室」を開催

10月24日、長野県諏訪市で本学理科教育センターと長野県諏訪市教育委員会的主催により、諏訪市周辺の小・中・高校生を対象に、学園創立125周年記念事業として「出張理科教室」開催しました。本学から大学生・大学院生・教職員190名と、高大院連携校の私立文京学院大学女子高等学校と栃木県立鹿沼東高等学校の生徒・教諭60名の総勢250名が、16テーマで理科・科学実験と工作の演示を展開しました。



平成22年度 一級建築士試験の 本学卒業生の合格者数 は全国で第4位

国土交通省から、平成22年度一級建築士試験「設計製図の試験」の合格者が発表され、本学出身の合格者は81名、出身大学別合格者数では昨年よりアップし、全国で第4位となりました。

平成22年度一級建築士試験「設計製図の試験」の属性(大学)における合格者数

順位	大学名	合格者人数(人)
1	日本大学	329
2	東京理科大学	139
3	芝浦工業大学	100
4	工学院大学	81
5	近畿大学	80
6	早稲田大学	77
7	法政大学	73
8	明治大学	68
9	中央工学校	64
10	関西大学	62

財団法人建築技術教育普及センター (<http://www.jaeic.or.jp>) より

Profile

日比谷「松本楼」と小坂梅吉

茅原 健



学歴・職歴

1934年東京に生まれる。中央大学法学部卒。
工学院大学総務部次長、同学校法人評議員、同学園開発本部部長。
学園街区共同事業体のエステック(株)の専務取締役。
後、(財)日本私学教育研究所の専任研究員、事務局長、理事を歴任。
現在、工学院大学参与(学園125年史編纂担当)。

主な著書

『民本主義の論客 茅原華山伝』、『新しい教育環境と学校施設』、
『新宿・大久保文士村界限』、『工手学校』など。

日比谷「松本楼」

東京千代田区の日比谷公園の一角に「松本楼」という洒落たレストランがある。この松本楼が、その場所柄もあって、近代政治史の舞台になっている。明治38年1月7日、日露戦争祝勝会の会場となる一方、明治38年9月5日には、ポーツマス条約反対の運動が日比谷公園で行われ、警官との衝突から「日比谷焼打ち事件」と呼ばれる民衆運動に発展した。大正3年2月10日に開催された、「内閣弾劾国民大会」では、松本楼のバルコニーから、憲政擁護の演説が行われている。その松本楼は、大正12年9月1日の関東大震災で焼失。再建されたが、戦後は、米軍に接収され、昭和46年11月9日には、沖縄返還協定反対運動が、日比谷公園で激化し、火炎瓶が松本楼を直撃して、全焼した。

また、松本楼は、日本文学史にも登場する。夏目漱石の

「野分」や松本清張の「神々の乱心」などの小説の舞台になっている。その松本楼の創業者は、小坂梅吉。なんと、その小坂が、工手学校の出身者だった。

工手学校採鉱学科第6回卒業生

『工手学校』(中公新書ラクレ)を書いたとき、小坂梅吉が語る工手学校の思い出を引用したが、小坂と「松本楼」の関係については、不覚にも知らなかった。ところが、学園125年史を書くために、『工学院大学学園七十五年史』の巻末にある、「工業界で活躍した卒業生」という名簿をつぶさに見ていたら、小坂梅吉は、「明治6年11月に生まれ、採鉱科第6回の卒業、茨城採炭、内国自動車、岩城炭鉱各会社の重役として、斯界に貢献したが、一面日比谷の松本楼および新橋演舞場の創設者であり、また東京市会議



小坂梅吉



員として市政に参与し、多額納税者選出の貴族院議員として国政に参与した」とあった。

小坂梅吉の生涯

小坂梅吉は、明治6年11月8日、東京市京橋区銀座尾張町に生まれた。父の没後、家業の食堂を継ぐ。明治25年2月、工手学校採鉱学科卒業。明治36年、日比谷公園内のレストラン誘致入札により、「日比谷松本楼」を創業。その後は、主に政治家としての人生を歩む。京橋区議を3期。東京市会議員6期。昭和12年、東京3区から、第19回衆議員選挙に立候補して当選(立憲民政党)。昭和14年、多額納税者選出貴族院議員に勅撰。この時、赤坂山王下の「幸楽」で開催された工学院の校友会総会終了後、卒業生最初の貴族院議員誕生を祝して、祝賀会を開催している。小坂は、関東大震災で焼失した工手学校の復興寄附に200円、工学院五〇年記念事業に300円を寄附している。昭和19年12月2日没。享年72。谷中霊園に「小坂梅吉之墓」がある。

松本楼余話

さて、ところで、小坂梅吉の「松本楼」は、日本に亡命した中国の革命家孫文を匿い、資金援助をした梅屋庄吉たちの回り舞台にもなっている。そのような中国との歴史的関係から、平成20年5月に来日した胡錦濤国家主席の夕食会が、松本楼で開催されている。

小坂梅吉のことは知らずに、ときどき「松本楼」で食事をしていた。その入り口に、孫文夫人となった宋慶齡が愛用したという、日本では最も古いというピアノが陳列しており、辛亥革命の孫文と梅屋庄吉との関係を説明したパネルが置いてある。その説明のなかに、日本映画界の風雲児、梅屋庄吉が新宿大久保百人町に住んでいたという記述に引かれて、梅屋のことを調べ、小著『新宿・大久保文士村界隈』(日本古書通信社)にそのことを書いた。

宋慶齡愛用のピアノが陳列してある向かい側の壁に、瀧澤栄一が「松本楼」と揮毫した扁額がある。しかし、それに目をやる人は少ない。



探偵小説と明治の築地

Profile

よし だ もり お
吉田 司雄

学歴・職歴

1957年 東京に生まれる
1988年 早稲田大学大学院文学研究科
日本文学専攻博士後期課程単位取得中退
1997年 工学院大学工学部共通課程専任講師
現 在 工学院大学工学部共通課程教授

主な著書

『探偵小説と日本近代』（青弓社）
『ディスカールの帝国 明治三〇年代の文化研究』（新曜社）
『妊娠するロボット 1920年代の科学と幻想』（春風社）
『文化のなかのテキスト
カルチュラル・リーディングへの招待』（双文社出版）

工学院大学の前身である工手学校は、明治21(1888)年、築地の木挽町10丁目13、14番地にあった東京商工徒弟講習所の校舎を間借りして授業を開始した。同年5月7日には南小田原町4丁目7、8番地にあった築地病院の敷地と建物を購入し、若干の増改築を施して新校舎とした。当時築地の外国人居留地には外国人宣教師の開いた学校が何校もあり、海外文化移入の先進地域となっていたことはよく知られている。立教、明治学院、青山学院、雙葉、暁星、いずれも開校の地は築地である。しかし、明治時代の築地を異国情緒あふれる外国人居留地のイメージのみでとらえるのは誤りだと思う。例えば、日本最初の創作探偵小説の舞台が築地であったということはどれほど知られているだろうか。

工手学校が誕生した翌年の明治22(1889)年9月、小説館という出版社の定期刊行物「小説叢」に発表された黒岩涙香の「無惨」。一般に日本探偵小説の嚆矢とされるこの作品は、「築地三丁目の川中にて発見したる年の頃三十四五歳と見受けらるゝ男の死骸」の惨状を記した新聞記事の引用から始まっている。ミステリファンなら誰でも知っている作品であるが、外国人居留地跡にあるタイムドーム明石(郷土天文館)の「中央区の文学」紹介展示コーナーでは紹介されてない。郷土の昔を語る文学作品として、陰惨な殺人現場の描写から始まる作品はふさわしくないということなのだろうか。この作品は、勘を頼りに見込み捜査を続ける自信満々のベテラン刑事谷間田に、物証を重視し科学的な捜査方法で真相に迫ろうとする若き大柄刑事が挑む形でストーリーが進むが、実は「無惨」が発表される2カ月前、実際に築地の川中で死体が発見される事件があった。黒岩涙香は現実の未解決事件の真相

解明に、創作の形でチャレンジしたのだった。工手学校が誕生したのとはほぼ時を同じくして、科学捜査の重要性を強調する探偵小説が登場したことは、この時代の空気をよく感じさせる出来事であろう。

築地とミステリとの関わりといえば、日本最初の指紋小説と言われる『幻燈』のことも思い起こされる。文明開化期に活躍したイギリス人落語家の快楽亭ブラックが講談落語雑誌「東錦」明治25年7月号に「血汐の手形」という題で発表し、同年12月に『幻燈』と改題して三友舎から刊行した作品である。明治11年頃、築地病院に勤務していたイギリス人医師ヘンリー・フォールズが、石器時代の土器に残された指紋の跡や江戸時代の証文に押された拇印と手形からヒントを得て、指紋を個人鑑別に応用する研究を推し進めていた。快楽亭ブラックは同国人フォールズの指紋研究を聞いてこの作品を構想したのではないとも言われている。今日、築地には「指紋研究発祥の地」の記念碑が建っている。そして、茅原健『工手学校』(中公新書ラクレ)が指摘しているように、フォールズの勤務した築地病院の跡地に建てられたのが、工手学校の新校舎だったのである。



指紋研究発祥の地碑



1877年5月、築地海軍原では気球試揚が行われた
歌川広重「築地海軍省於鍛錬場風船御試之図」



『無惨』初刊本挿絵

平城遷都 1300 年祭 平城宮跡会場 全体整備計画

Profile

さわ ざき ひろし
澤崎 宏



1957年8月2日 東京都大田区に生まれる。

学 歴

1981年3月 工学院大学工学部建築学科卒業(山下研究室)

職 歴

1981年 株式会社 計画・環境建築/YAS都市研究所入社
建築家 木島安史、橋本文隆に師事

2000年～ 同社 代表取締役東京事務所長

2004年～ 同社 代表取締役社長

2008年～ 工学院大学非常勤講師

2009年～ 東京都建築士事務所協会千代田支部 支部長



「あをによし奈良の都は咲く花のほふがごとく今盛りなり」和銅3(710)年の平城遷都から1300年を経て「平城遷都1300年祭」が2010年1月元日から12月31日まで開催された。この平城遷都1300年祭は、「平城京」の都が誕生して1300年を記念する国家的プロジェクトとして開催される記念イベントである。私は、4人のプロデューサーのもと平城宮跡会場の会場整備プロジェクトのチームリーダーとして参画した。この記念すべき記念事業に対して、私は日本の多くの博覧会の計画を経験した設計者の一人として博覧会的事業を通じ、いかに地域活性化に寄与するか、本計画ではいくつか試みている。第1に日本が持つ歴史的なポテンシャルをどのように活用して日本の観光事業を発展させるか。第2に歴史的な都市景観をどのような形で都市形成モデルを確立するか。第3に奈良県の地域資源として捉えた木材の活用をどう考えるかである。

「全体整備計画」

計画地である特別史跡・平城宮跡の広さは約130haの規模で、昭和53年に制定した「特別史跡平城宮跡保存基本構想」に基づき「遺跡博物館」として活用するために整備が進められた。平成12年には、古都奈良の文化財と



共にユネスコの世界遺産として登録。そして、現在の知事となって、平成19年12月に国営公園化が閣議決定され、国による本格的な事業として整備が行われることになった。

主会場となる平城宮跡は、長年の文化庁の発掘調査・研究によって遺構・遺物を紹介する「平城宮跡資料館」と地下遺構そのものを紹介する「平城宮跡展示館」が設置され、復原施設として「朱雀門」、「東院庭園」等、そして今年「第一次大極殿正殿」が完成した。更に、隣接地には恒久施設の「平城京歴史館」と「遣唐使船復原展示」が奈良県によって整備された。

イベント時は、これらの施設群を結びつけるために「交流広場」と「エントランス広場」を仮設整備し、新たに開発した歴史文化のインタープリターシステムが導入され、歴史文化を楽しく学べるような体験価値が創出された。各広場には、インタープリターや運営を支援するサービス施設を適宜配置して、各施設が相互に有機的にネットワークされるように回遊式の会場構成とした。

世界遺産に認定された遺跡を利用してイベントを開催する場合には、仮設施設でも地下遺構の保全と宮跡景観への配慮が科せられ、ユネスコの世界遺産委員会の許可



平城遷都1300年祭（Celebrating the 1300th anniversary of Nara Heijo-kyo Capital in 2010）の会場計画

2010年、平城京に都が移されて1300年を迎え、奈良県全域で「平城遷都1300年祭」が開催された。「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されている平城宮跡が主会場となり、歴史文化遺産の保存と活用を、世界にアピールするイベントである。また奈良県の木材を活用し、建築からサイン・ベンチにまで、伝統的な木造技術を応用することにより、木の魅力があふれる環境づくりを提案した。

を得る必要がある。そのために文化庁と奈良県が協議し、「会場施設構造検討委員会」と「会場施設景観検討委員会」を新たに設置して、さまざまな角度から研究・提案を実施し、専門委員による審議を行って、施設整備の指針を得ることができた。

その結果、地下にある遺構・遺物に影響を及ぼさない基礎を持った施設整備と宮跡の重要な景観である若草山をはじめとする大和三山の眺望を妨げない会場計画とすることが求められ、施設の規模・形態・構造・色彩・素材が規制された。

最終的には、主要な宮跡の遺構に支障がない場所に施設を配置し、更に建築は奈良市の景観条例を順守した切妻屋根平屋建てとして木造建築で統一した。主要施設は3タイプの建築で計画している。協会が整備する休憩施設・飲食物販・案内施設・展示施設等は木格子で覆ったテント建築とし、会期後の撤去が容易な仮設建築を採用した。

主要催事が開催される「まほろばステージ」は、小断面集成材の木造建築とした。今後は再利用の検討を行う予定である。また、第一次大極殿院の周辺の築地回廊に代わって、院地区の空間と位置を規定する「大極殿院修景柵」を奈良県が整備し、会期後も本格整備までの期間は存置させることになっている。

今回、会場や施設に使われる木材は奈良県産材の杉材を中心に選定して、仮設建築に使用する木材は「奈良県木材協同組合連合会」に、会場のサイン・ファニチャー等の施設に使われる丸太材は「奈良県森林組合連合会」に、それぞれの団体の協力を得ながら、奈良県産木材のアピールする機会とした。

最後に文頭の「あおによし・・・」とは、「青と丹(に)がとてもよく、きれいであり、奈良の都はとても賑わっている」という意味の万葉集の歌であるが、まさに平成の奈良の都は「今盛りなり」と言えよう。

企業が求める人財とは

Profile

坂口 雅昭

1953年8月1日生



学 歴

1977年 工学院大学工学部 生産機械工学科卒業

職 歴

1977年 株式会社フセランに入社、大阪工場勤務

1988年 同社 三重工場に異動

2004年 同社 取締役 品質保証責任者

2010年 同社 取締役 営業統括



1994年 蘇州で北郷学長と

1977年、本学・生産機械工学科より現在の会社に入り、品質保証部門に配属されました。そしてすぐに気付いたことが、業界の国内研究組織「日本ねじ研究協会」の理事を本学の北郷薫学長(当時)がされていたことです。そのようなご縁があり1990年代何度か中国で「日中締結学術会議」にご一緒させていただきました。

第一回は1993年、当時の中国は首都・北京でも交通ル



1994年 上海地図には高速道路が一つもない。流で、唯一日系ではダイハツシャレードのOEM版・天津一汽汽車が小型タクシーとして多用されていました。

また食文化では、楽しみの冷えたビールにありつけるのはホテルなど極一部で、大半のレストランは常温が当たり

前でした。

その後、訪問するたびに、沿岸部経済特区が改革開放政策の基で急速に発展し続け、現在に至るまで街は埃だらけでした。高層ビル工事も多く、しかも足場は金属ではなく、竹を器用に組んで高層ビルを建てているのには驚きました。



1994年 当時の蘇州街並み

このようにアジア地域を見ると、中国以外、東アジアでも同様に急速に発展しております。

私の職場である自動車部品製造会社は、自動車メーカーから現地生産化を要求され海外進出を決断しなければなりません。『売れるところで売れるクルマを造る』は自動車メーカーの方針でありましたので、1996年に米国オハイオ州、2004年に中国・浙江省、2008年タイ・ラヨン県に現地法人として進出しました。

現地を訪問して新採用した社員を觀て驚いた点と、一方で日本の学生との違いを感じた点があります。

まず海外進出で成功させるには、現地の文化を大切に、例えば日本人も現地従業員と同じ食堂で食べ、特別待遇にしないこと、我々は「この国で働かせて頂いている」気持ちで接することです。そして国ごとに駐在員、出張者マニュアルを作成し、安全かつ快適に生活できる環境を準備

しておくことで
す。この様にして
私どもは多くの現
地支援・駐在員を
送り込みました。

また中国やタイ
における学生は、
明らかにハング
リー精神を持って
います。昇給昇格
の面に非常に敏感
で、常に上を目指
しています。また
日本人から学ぼう
とする意欲も高
く、これらの点は

日本が2002年の「ゆとり教育」の世代とのギャップを感じ
ています。

そしてアジア諸国は国が陸続きのせいか、国境を意識し
ないグローバル感覚を持っています。入社3カ月大卒の女
性通訳が親会社の私を連れて、会社が有る浙江省寧波市から「天津、広州、武漢」に出張し、航空便やホテルの予約、客
先のアテンド、空いた時間に小観光と多彩な行動をしてく
れます。これは日本語1級資格通訳なのでエリート学生
だったと思いますが、中国でもタイでも採用した社員は同
じレベルの方が多いのです。

一方、日本に戻ると、相変わらず電車では携帯電話を眺
める人は半数以上います。海外ではまず見かけない光景で
す。そもそも携帯電話の簡易型インターネット(例えば
i-mode)などは海外では環境が無く、通話より通信パケッ
ト料金が桁違いに高いのも理由だと思いますが、私は
「i-mode」が日本の情報化社会を遅らせ、若者をダメにして
いると考えています。

日本は携帯電話を「ケータイ」と発音します。これは電話
の通話機能はほとんど要らないのです。従って電話を使わ
ないので「ケータイ」です。しかしグローバルスタンダード
で見ると携帯電話は通話中心、情報用途ではビジネスマン
はWiFi(無線通信)を利用したスマートフォン・タイプでの
インターネット利用が主流です。

このような背景の中、若者の「考える機能」の低下も懸念
されます。

例えば、ケータイには予測変換機能が有り、余り考える
ことなく次の単語や文章が出て来ます。またパソコンを
使ってもキーボードを叩けばどんどん漢字は忘れて行き、
ウェブサイトを活用すれば必要な情報を得るので、自ら



1994年 浙江大学 日中緊固件会議

の足で探すことが少
なくなります。そして
これをコピー&ペス
トすれば簡単に文書
が作成できます。
段々、自分の眼で手を
汚して三ゲン主義(現
場、現地、現物)を実行
しなくなるのが問題
と感じています。

現在私は、グローバ
ル営業部門とIT部門
を担当しています。33
年間の経験から、私の
人材育成の考え方で
すが、

- ①できる人材は、どのような環境でも育つ
- ②将来性のない「人在」は早期段階で見極め、出来れば採用
は控えること。
- ③問題は、この中間層です。この人材を「人財」に替えるこ
とが企業の将来を大きく左右する。
- ④「人は変えよ」=これは早く人を辞めさせ入れ替えよ、と
いうことではありません。適材適所になっていない場合、
早く入れ替えてやって適所に異動させること。
- ⑤管理者は「目線を下げよ」、そうすれば部下が見えて来
る。そして話しかけてくれる。そこから学ぶことも多く、
参考に活かせることが生まれる。

これからの日本の進む道は、デジタルツールも活用しな
がら、アナログツールも併用、すなわち「手書き」も行うこ
とが成功の秘訣。

手書きは脳を活性化させます。そして「情報」と云うイン
プットを脳が加工し、文字を書く手がアウトプットし形と
なる。パソコンでコピー&ペーストを行ったり、携帯の予
測入力機能は文章作成能力を低下させ、飛躍した発想が生
まれてこないと考えています。

従って記録メモをとり、悪さや失敗の事例、気付いたと
ころを記録する。常にノートを持ち歩き残して頂きたいの
です。

変化の速いグローバル化社会では、大量データを保存検
索できるパソコンのようなデジタルツールの得意分野と、
小回りのきくアナログ頭脳をコラボレーションして行く
ことが将来の日本が勝ち残る条件だと確信しながら孤軍
奮闘しております。

未来に挑め 今 その時

ごう だ ふさ お
合田 房雄

1939年9月生



学 歴

1958年 3月 香川県立観音寺第一高等学校 卒業
1962年 3月 工学院大学工業化学科卒業(横山研究室)

職 歴

1962年 4月 オーツタイヤ(株)(現、住友ゴム工業(株))入社
1971年 3月 オーツケミカル(株)大阪府高石市にて創業
1971年 8月 オーツケミカル(株)設立 取締役就任
1989年 8月 オーツケミカル(株)代表取締役就任
2009年 7月 オーツケミカル(株)社長を退任し会長に就任
2010年11月 高石商工会議所、会頭に就任

高校卒業の頃は理工系の志望であり、先生の勧めにより工学院大学に入学しました。大学の卒業論文は有機合成で、テーマは「ホスホニトリルの研究」(耐熱性樹脂開発を視野に)でした。

就職はオーツタイヤ(当時大津ゴム工業(株))に入社、最初は研究所に配属され、将来の自動車タイヤであるスチールラジアルタイヤのゴム配合と、コードレスの光るウレタンタイヤの基礎研究としてのウレタンゴム合成の仕事に従事しました。その後ウレタンタイヤは自動車タイヤとして耐熱性と耐屈曲性に限界があることが分かり、その後ウレタンゴムを材料として工業用品、建材などの用途開発を進めて上市しました。自動車タイヤはレディーメードによる大量生産であるのに対して、ゴム工業用品はオーダーメードの多品種少量生産であり、大きい組織の体質には合わず伸び悩んでいました。

入社8年目頃に人生の転機が訪れたのです。オーツタイヤ(株)は事業再編成のため工業用ウレタンゴム部門から撤退が決まりました。仕事に愛着を持っていた三人が、ウ

レタンゴム市場の成長に期待して独立会社を設立させました。

設立当時はウレタンゴムの製品づくりには自信がありましたが、営業をして仕事を確保するには、知名度もない会社では大変なことでした。根気よく営業活動をするにより仕事量が比較的安定すると、次には客先からの要求が厳しくなり、これに応える体制づくりに取組まなければなりません。人材の採用・育成、設備投資を行う資金調達など仕事の範囲が拡がり、苦勞の連続でした。これらの課題を解決するためには苦しい決断と努力の連続でしたので、お陰で忍耐力が養われました。今日まで当然ではありますが、紆余曲折はありました。しかし現在に至ることが出来たことは、お客様はじめお取引先様、社員、地域の協力者のご支援の支えによるもので、衷心より感謝いたしております。

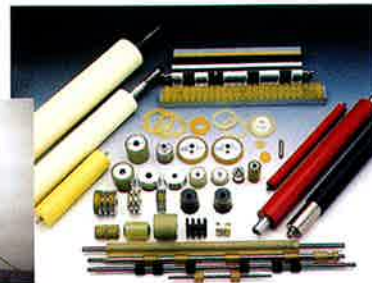
当社の製品は、製鉄用ロール、製紙用ロッドホルダーなど大きなものから、フォークリフト、コースター、新交通システム等の車輪や事務機である複写機のクリーニング



ジェットコースター用車輪



フォークリフト用車輪



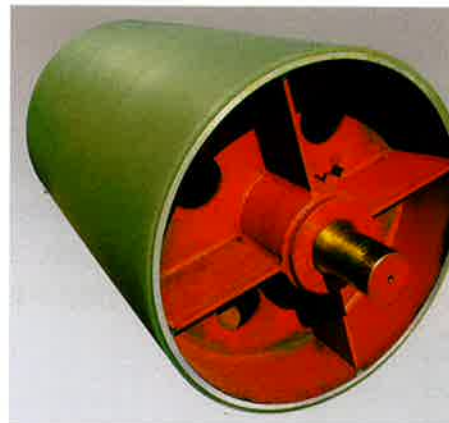
コピー機用のローラおよびブレード

ブレードや銀行マシン用の精密な特殊ローラなどの小さなもので、多岐にわたっています。最近では太陽電池用シリコンインゴットをワイヤーカットする機械のメインローラー、ガイドローラーに使用され、あらゆる産業分野の機能部品として活躍しています。

今は会社の実務である社長職は長男に譲っていますが、会長として会社の将来を考え、後継者の育成とか、結束力のある組織づくりを行っています。一方残された人生を、今日までお世話になった地域で少しでも社会貢献を行い、人生の帳尻を合わせたいと考えています。

在学生在に何かコメントと言われるので強いて申し上げます。

最近是自己中心的な人がよく見かけるのですが、日本には元来、聖徳太子の制定した十七条憲法の第一条の言葉に「和を以て貴しと為し」とあります。社会において何事をするにも人は仲良く協力することが大切だと思います。そうしないと会社(組織)はうまく機能しないのではないのでしょうか。また現在はグローバルで物事を考えないといけない時代に入っていますので、特に若い人は海外などに出向き、幅の広い視野を持った人間になってほしいと思います。



鉄鋼ローラ(大)



仕上がり製品



製造現場



本社

未来に挑め 今 その時
 一、今 一致団結の時
 一、今 創造改善の時
 一、今 誠実責任の時
 一、今 決断実行の時
 一、今 努力啓発の時
 一、今 健全明朗の時

社は

神様のお手伝い

Profile

こやま こういちろう
小山 晃一郎

1937年9月20日生



学 歴

1957年3月 北海道立函館工業高等学校卒業
1967年3月 工学院大学専修学校工業化学科卒業
1979年3月 道灌山学園保育専門学校卒業

職 歴

1967年4月 交洋工業株式会社入社
1968年4月 電医研工場長代理
1969年4月 パルン営業所開設(自営)
1973年4月 学校法人多摩川学園小鈴幼稚園理事長就任
1981年4月 学校法人多摩川学園小鈴幼稚園園長就任理事長兼務
2009年9月 法務大臣賞受賞

連絡先 kosuzu-youchien@ayiaocn.ne.jp

神様のお手伝い

小山 晃一郎

昭和42年3月応用化学科卒業、学校の紹介で中央区京橋交洋工業水質分析係として入社するが、昭和43年杉並区永福町の電医研工場長代理として転勤する。然しここが1年で倒産、交洋工業は水質分析で化学に関係がある



2010年秋の大運動会

が電医研は医療機器で化学に関係が無く悩んでいた所に12月頃から会社が危ないと噂が流れ、悩んで十二指腸潰瘍になる。

その時友達から玄米胚芽酵素を紹介され飲んだら手術しないで治る。友達に話すと「胚芽酵素入り乳酸菌飲料を売って見ないか」と言われ武蔵野市の販売権を買い、昭和44年4月パルン営業所を開設。夫婦と住み込みの若い2人を使って営業を開始する。4年経った頃得意様から駅前に良い物件があり自分が保証人になるから買わないかと話があった。一千万円を銀行から借りる件で妻の親に保証人のお願いに行った所、一千万円借りるな

ら幼稚園をやらないかと言われる。父親は議員をしており教育長から頼まれていたという。私は父親に「教育の資格が無い」と言う資格のある人がいるので理事長でと言う事になり昭和48年4月理事長に就任する。一千万円の借金を返済しなければならず幼稚園から給料は貰えない為、吉祥寺営業所は続けていた。二足の草鞋をはいて二年過ぎた頃過労で居眠り運転の交通事故を起こす。二足の草鞋は無理と解り営業所は若い人に譲り幼稚園に専念する事になった。若かった上に熱心の余り先生方や園長のやり方に口を出すようになった。

ある時、運動会の事で父母会が先生方や園長にお願いしたが園長も駄目最高責任者の理事長の私にお願いしにきた。そこで園長に再三お願いした所大変なことに。教育の何も知らない者が物申したと次の日先生達全員がストライキ。それを知ったお母さん達が怒って私達で保育するから止めさせて下さいと云う事件があった。理事長でも教育を知らなくては駄目だと



日常を裸・裸足で



秋の収穫の実習

悟り改めて保育学校に入学、昭和54年3月道灌山学園保育専門学校を卒業し昭和56年園長に就任する。そこで園長の教育方針を話す。次年度57年度から「体も心も丈夫な子に育てる為に裸、裸足教育をする」、子供の事を知らない人が外部から来て正課、課外教室を行ったことに反対した先生方に昭和58年度体操教室を行う事を話す。その後3年か5年毎にリトミック、スイミング、英会話教室

を取り入れ、父母達から信頼される幼稚園へと成長する。

町の役職も60年、連合PTA会長、副区長、平成元年から保護司就任、保護司会長、薬物乱用防止協会指導員、幼稚園協会会長等。平成21年9月8日更生保護60周年記念大会で法務大臣賞を受賞、今も保護司を続けています。応用化学科卒の化学家が幼児教育に携わるとは夢にも思わなかった。これも神様のお導きで神様から与えられた天職と思い使命感を持って未来の子供達の為にこれからも神様のお手伝いをして行こうと思う昨今です。



平成21年法務大臣賞授賞の時（中央）



小鈴幼稚園スタッフ



園長夫妻



お祭りでの小山園長先生

睡眠とその改善法

— 睡眠は個人のひとなりを表す —

こばやし とし のり
小林 敏孝

1948年生



学 歴

1948年 神奈川県生まれ
1972年 工学院大学工学部 電子工学科卒業
1974年 同大学大学院修士課程修了
1977年 同大学院博士課程 満期退学
1979年 工学博士(工学院大学)
1979年 東京都精神医学総合研究所 精神生理学部門 主任研究員
1985年 カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部精神科に留学(3ヶ月)
1993年 東京都同研究所 退職

職 歴

1993年 足利工業大学 工学部 教授
同大学大学院博士(後期)課程 情報・生産工学専攻 指導教授
2003年 足利工大附属睡眠科学センター長(兼任)
日本睡眠学会 理事

連絡先 toshi@ashitech.ac.jp

先日、長嶋秀世先生から同窓会誌に睡眠の話を書いたのので原稿を出すようにと、お話がありましたので、ここに私の研究も含めて、快適な睡眠のとり方について少しお話をさせていただきます。私は工学院大学の電子工学科を昭和47年に卒業し、奥野治雄先生の下で大学院の修士、博士課程と進み、昭和53年に「睡眠中の眼球運動に関する情報理論的解析方法の開発」で工学博士を頂きました。その後、東京都精神医学総合研究所で人間の睡眠を精神医学の観点から研究し、平成3年から足利工業大学で、睡眠と情報処理の関係を人間情報工学の観点から研究しております。睡眠には夢を伴うレム睡眠と伴わないノンレム睡眠がありますが、今回は、ノンレム睡眠に焦点を当て、睡眠とは何か、睡眠の改善法について、私の30数年の睡眠研究の体験も含めて、簡単にお話しさせていただきます。

うつ病や自殺者の急増が日本の社会では大きな問題となっていますが、このような社会現象の背景には、睡眠に



問題を抱える人がかなりいることを示しています。そもそも精神的に健康な人であれば、睡眠は空気みたいなもので、自分の睡眠などに興味はもちません。しかし、眠れなくなると、「不眠の怖さ」と「睡眠の凄さ」に気づきます。睡眠の機能を調べる目的で、睡眠を奪う実験(断眠実験)を行うと、最初に現れるのは感情の大きな変動です。ちょっとした刺激で、激怒したり歓喜したりするようになり、感情的に非常に不安定になります。さらに断眠を続けると、幻覚が認められるようになり、聞こえるはずのないものが聞こえたりします。さらに断眠を続けると、動物実験ですが、体温の調節ができなくなり、最終的には死に至ります。断眠実験から、睡眠は精神的な健康を維持するためには欠くことのできない生命現象であることがわかります。断眠後に被験者に眠ってもらうと、非常に深い睡眠が多量に出現します。この深い睡眠が十分に取ると、被験者の感情が安定して精神的な落ち着きを取り戻します。この深い睡眠ですが、大脳の前の部分(前頭葉)から発生する睡眠で、大きな前頭葉を持つ人間では、特に顕著に出現する睡眠です。前頭葉には人間としての特徴を示す精神機能、たとえば物事を洞察する、創造する、予測する、計画的に遂行するといった機能が集中して局在しており、睡眠が奪われるとこのような前頭葉の機能が大きく障害されます。また、断眠をすると脳の神経細胞から毒素のような物質が出るので、これが脳に大きなダメージを与えるのではないかと考えられています。この毒を解毒しているのが深い睡眠ではないかとも考えられています。我々の日常生活の中でも、どんなに精神的に疲労していても深い睡眠が十分とれていれば、疲労は解消され、精

神的なエネルギーが沸いてきます。たとえば、精神的なエネルギーが低下する「うつ」という精神症状がありますが、うつ傾向が亢進すると、この深い睡眠が少なくなります。深い睡眠は精神的ストレスの解消や精神的エネルギーの充足に深く関わっています。このように、睡眠はこころの健康にとって非常に重要であると同時に、精神的エネルギーの源泉でもあるのです。

しかし、脳細胞が老化してくると、深い睡眠は急速に少なくなります。つまり加齢にともなって深い睡眠の出現量は確実に減少してきます。早い人で30歳代半ばから、平均的には50歳代から急速に減少します。日常生活での実感としては、①若いときのような熟眠感がない、②心配事が多くなったような気がする、③集中力が低下する、④物事への興味の範囲が狭くなってきた、⑤体を動かすことが億劫になる、といったことが多くなります。このような症状は誰にでも多かれ少なかれあると思いますが、このような症状を呈することを、睡眠学では覚醒の質の低下といいます。昼間の覚醒の質が低下してくると、夜の睡眠、特に深い睡眠が少なくなり、睡眠の持続力が低下してきます。長く、しかも深く寝れなくなります。

では、深い睡眠を増やすことは出来ないのでしょうか。医学的には、眠れない人を眠らせるには「睡眠薬」が効果的ですが、睡眠の内容を改善する方法には決定的な方法は未だありません。我々は睡眠の内容を改善する方法、特に深い睡眠を増やす方法を開発する研究をしています。この深い睡眠のことを睡眠学では徐波睡眠と呼びますが、徐波睡眠は昼間の覚醒状態と密接に関係して、昼間の活動を活発にすると夜の徐波睡眠は増加します。この背景には脳におけるエネルギー代謝(脳代謝)が関係しています。つまり脳細胞が昼間エネルギーを多く消費する

と脳に多量の熱が蓄積され、脳はこの熱を夜になると体外に放出します。この過程を熱放散過程といいます。このときに徐波睡眠が多量に出現するのです。昼間の神経活動によって脳に蓄えられた熱が多ければ多いほど、夜になるとより多くの熱が放散されますので、より多くの徐波睡眠が得られるわけです。この説を睡眠のクールダウン(cool down) 機能説といいます。この説に従えば、昼間脳活動を活発にすることが、夜の睡眠の質を改善することにつながるのです。これを日常生活で考えれば、昼間、積極的に頭を使うこと、できれば自分の興味があることで頭を使うこと、そして適度な運動です。それも毎日持続できるものがお勧めです。運動は脳を活性化します。このような昼間の過ごし方が夜の徐波睡眠を増やすことになります。したがって、昼間の過ごし方が夜の睡眠の質を決めているのです。そして、質の高い睡眠は、翌日の昼間の覚醒機能を充実させるのです。この睡眠と覚醒の好循環こそがストレスを軽減し、脳の老化を遅らせるのです。

最後に余談になりますが、高齢者の睡眠を記録していると、70歳を過ぎても徐波睡眠が出現する人たちを目にしますが、この方々にはある特徴があります。好奇心が旺盛であること、運動習慣があること、社会的にリタイアされても常に精神的には現役であること。そして少し抽象的な表現になりますが、これらの方々にお会いすると目つきや言動に人並み外れた迫力があることです。工学院大学の私の恩師はまさにそのような方でした。大きな声、迫力のある話し方、諸事に貪欲であり、責任感が強い方でした。常に時代を先取りしたお考えをお持ちでした。そして、教授として多くの優秀な人材を世の中に輩出されました。睡眠は個人の性格や行動特性と密接に関係していて、その個人の人なりを物語っています。

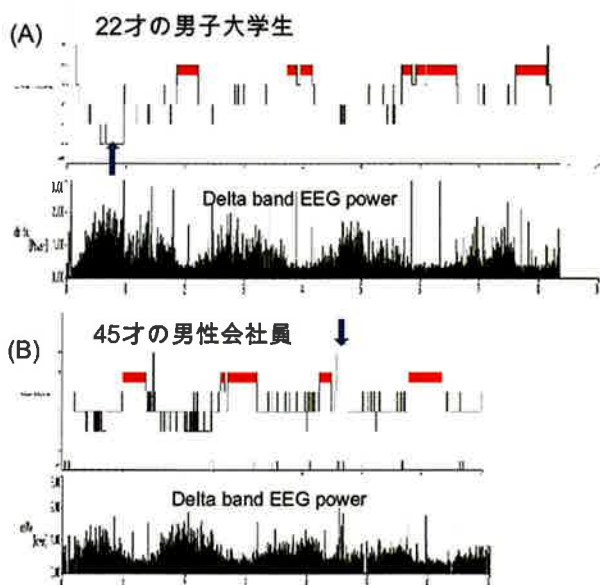


図. 1 一晚の睡眠の経過(上段)と深い睡眠の量的変化(Delta band EEG power:下段)

— 大学生(A)と中年の会社員(B)の比較 —

(A)は若者の典型的な睡眠パターンで、深い睡眠が睡眠前半に多く出現している。睡眠時間も8時間半と長く、夜に起きることがない。これに対して、(B)は中年男性の典型的な睡眠パターンであり、最も深い睡眠がなく、睡眠時間も短い。そして夜の途中で起きています。睡眠の老化が読み取れる。尚、(A)の上向き↑は最も深い睡眠を示す段階4を、(B)の下向き↓は中途覚醒を示す。Delta band EEG powerの振幅が大きい程、睡眠は深い、このときに脳活動が低下して、精神的ストレスが解消される。

特殊クリーニング技術で 使い古されたものが蘇る

Profile

つち だ しょういち
土田 昭一

1931年8月6日生



学 歴

1943年4月 工学院第一工業学校創立 同校入学(工業化学科)
1949年3月 同校卒業、学制改革により高等学校となる
1950年3月 工学院大学附属高等学校卒業
1950年4月 工学院大学入学(工業化学科)
1954年3月 同校卒業(関谷研究室)

職 歴

1954年 4月 (株)白洋舎入社
1955年10月 東京ホールセール(株) 建設委員として出向
1956年 4月 東京ホールセール(株)入社
1972年 9月 取締役就任
1992年 3月 代表取締役社長に就任
2004年12月 代表取締役会長に就任
2009年12月 東京ホールセール(株)退社

※(株)白洋舎役職は省略



東京ホールセール株式会社・府中本社

彩の美

最新の設備と優秀な設備によって、美しい本来の「いろ」と「つや」をものの見事によみがえらせます。それは大空にかかる鮮やかな虹のように。

虹は空のかけ橋

虹は私たちの こころのかけ橋

白の美

最新の設備と熟練した最高の技術によって汚れを取り除き、さわやかな輝く白さを再現します。それは大空に浮かぶ白い雲のように。

心の美

「彩の美」も「白の美」も優しく清らかな真心の現われと信じ、親切丁寧、しかも迅速に精いっぱいサービスいたします。



スローガン

色褪せた皮製の椅子やソファが風合いを損なうことなく、綺麗に蘇ります。毛皮、和服など高級衣類のクリーニング、ジュタン、カーテンから布団、ぬいぐるみ、靴、バックにいたるまで、あらゆるものが特殊クリーニング技術によって見事に再生されます。

更に、衣類の撒水、防虫加工や、カーテンの防災加工、靴やバックの染色、修理、真空パックなど特殊加工技術を駆使して多くの顧客の期待にこたえている「東京ホールセール株式会社」は、昭和30年創業で、東京府中に本社を構える国内最大級の特殊クリーニング技術を誇る会社です。

工学院高校第1期生の土田さんは、創業時から会社を牽引し、一昨年末、会長職を最後に勇退されました。

クリーニング業界は、近年、家庭用洗濯機、乾燥機、洗剤の性能向上やファッションのカジュアル化などが影響し、全国的に市場が縮小しているようです。

そんな中でも、東京ホールセール(株)は、社名が示すとおり、中小の取次店からクリーニングを請け負う卸業務(ホールセール)として実績を重ね、積極的に海外技術の導入と自社技術の開発を計り、設備、規模、技術の充実によって、高級衣料販売店、商社、百貨店など広範囲に亘って受注を受け、順調に業績を伸ばしています。

3R(リユース、リデュース、リサイクル)の内、リユース(再使用)の分野で、使い古された日用品、愛着のある装飾品、高級衣類などの再使用は、時代の要請に応えるものとして重要な仕事と言えます。更に、クリーニング業務に伴うエネルギー使用削減や、環境汚染防止に配慮した操業を行うことで、ISO9001, ISO14001の認証を早期に取得し、東京ホールセール(株)は関連会社3社と共に、地域や、地球環境を守る為の貢献をモットーにして日々、企業活動に励んでいます。

(取材:木本勝正)



靴の洗浄機

皮製品を色別に分けて洗浄する機械群



ジュータンのシャンプー洗い

皮製品洗浄のあと調色



ドレスの仕上げは熟練技術者の手で

皮製品の最終検査



日焼け直しの効果

毛皮のパウダー洗浄



着ぐるみ達も生まれ変わりました

土田前会長の志を継承する

東京ホールセール株式会社
代表取締役社長 武井 秀夫

職場風土はリーダーの人間観によって作られる。

人間は本来怠け者であり責任を回避したがるので、苦勞から逃げようとするが、組織目標の達成に向けて行動するためには、自分が率先して行動することだと、折に触れて前会長から薫陶を受けていました。

前会長は幹部社員に対して社長、会長時代を通じて非常に厳しく、妥協を許さず常に真を貫く、そんな人間観の持ち主であったような気がします。反面、従業員に対しては非常に温厚な方で、従業員の全ての方から信頼され、尊敬されていました。また、ある時は積極性に富み、これと思ったことにはどんな状況にあろうとも挑戦する強い意思をお持ちで、常に感服しておりました。

近隣地域との共生を重んじ、近隣行事への積極的参加、協力を惜しまず、ロータリークラブでは会長まで歴任されました。社内だけに目を向けず、社外に対しての心配りも忘れない、そんな素敵な方でした。

また、教育に関しても非常に熱心で、特に東京ホールセール株式会社の規範となる、VM、改善提案、5Sには特に力を注ぎ、会社としての礎を築かれました。私共もこんな前会長の功績を絶えず胸に、夢と感動を与えられるよう、仕事を通じて後継にしっかりと伝えて行きたいと思っています。

東京ホールセール株式会社

本社・工場(東京都府中市) 甲信東京ホールセール(株)
営業所(神奈川県平塚市) 東海東京ホールセール(株)
湘南東京ホールセール(株)

ISO9001認証取得(2004年9月)ISO14001認証取得(2004年10月)

東京ホールセール(株)を見学してみませんか？皮革衣料・靴・ぬいぐるみなどを洗っているところを見ることが出来ます。見学は無料ですので、法人以外の個人の方お一人でもOK、説明員と一緒にゆっくりご覧下さい。

◎毎週木曜日(午前10時より・午後1時より)は工場見学日となっております。お気軽にお申し込みの上、お越し下さい。

府中営業部 TEL 042(362)5411

シルクロード その豊かさと変貌の狭間

平井 實

桜蘭の美女にまた会うことが出来た。身長 152cm、血液型 O 型、死亡した推定年齢 45 歳。目は深く、鼻は高く、髪は黄褐色、明らかにヨーロッパ系の人種である。

3800 年前に死亡したとされる女性のミイラが発見されたのは 1980 年、タクラマカン砂漠の東、桜蘭の遺跡で発掘され一躍世界中にシルクロードブームを巻き起こした。
(ウルムチの新疆ウイグル自治区博物館に展示されている。)

そのシルクロードもここ数年急速に変貌を続けている。特にウイグル最大の都市ウルムチ、民族の十字路と呼ばれるカシュガルの大都市周辺は特に激しく、天山山脈の目の前にするウルムチは、砂漠とラクダのイメージとは程遠くまさに大都会。

2008 年の秋に訪れたときに見た日干し煉瓦の家並みがいつの間にか壊され、その後には巨大なビルが造られていた。そこに住んでいた人々は何処に行ったのだろうか？

ここ数年急激に漢人の流入が増えたせい、街中の看板もウイグル語が消え中国語に変わってきている。さらにウイグル人や少数民族の人たちと漢人との対立は激しさをみせ、暴動まで引き起こし多くの死傷者を出している。

確かに生活は便利になり豊かになったかもしれない。驢馬車から自転車に、そして車にと変わりクラクションをけたたましく鳴らし走りすぎて行く様は、東京の街中とさほど変わらない。

砂漠の中に油田が林立、風力発電の風車が天山山脈を背景に回っている風景はシルクロードのイメージとは程遠い。はたしてウイグルに住む人たちにとってこんな変貌は幸せなのだろうか。



●ウイグル最大の都市ウルムチ
(後方の山は天山山脈のボゴタ峰)



●ウイグルの女性はみな美しい



●長老と子供たち



●古い建物が壊され新しいビルが
続々と建設 (カシュガル)



●祖父と孫（タシュクルガン）



●下校するタジク族の子どもたち（タシュクルガン）



●日曜バザールに向うウィグルの人たち（カシュガル）



●ウィグル人の主食ナン



●日本では見られない洗濯場の風景（トルファン吐峪峽）



●日干し煉瓦の建物の中は意外に広い



●羊の売り買いをする人たち



寄稿 平井 寛さん

（昭和30年工学院高校 普通科卒業）

《略歴》

1937年 神奈川県藤沢市で生まれる
1952年 工学院大学高等学校入学
1955年 同校普通科卒業
1959年 法政大学工学部卒業
（在学中 工学院高校野球部の監督を務める。）

同年 読売新聞社東京本社写真部入社

1993年 写真部長

1997年 退社

長野オリンピック組織委員会フォトコーディネーターを経て現在、写真家。

《主な取材歴》

1968年、メキシコ五輪。1976年、中国取材中に毛沢東氏死去をスクープ。
1983年、欧州各地を2ヶ月間に渡り取材。三島事件、浅間山荘たてこもり事件などの取材の他、
1989年の昭和天皇臨病生活111日間、1991年の湾岸戦争をデスクとして担当。
1995年に起きた阪神淡路大震災、オウム事件は写真部長として指揮を取った。



卒業生(校友会会員)の求職・転職サポートします。

全国10ヶ所に直轄支店「NCSジョブ・サーチ・センター」を開設。きめ細やかな充実の職業紹介が可能です。

校友会では、多様化する社会情勢に対応するため2007年より、建設・土木・不動産系を中心とした、日建学院グループ職業紹介専門企業「ニッケン・キャリア・ステーション」とタイアップし、会員の皆様の求職・転職をサポートするシステムを整えています。充実のキャリアプランの実現へ、本システムをご活用下さい。

■ 職業紹介事業に対する意識

より確かな人材を求める企業側の需要と、優良人材の引き合わせを行なう職業紹介事業—

「たくさんの情報の中から、選択することができる」「専門機関として第3者が間に入ることで、企業側の正確な情報を知ることができ、応募する前の選別がしやすくなる」など、多くのメリットが認知され、ご利用価値が高まっています。

■ ニッケン・キャリア・ステーション

(厚生労働省大臣許可 13-ユ-090149) とは

日建学院グループ、建築業界中心に特化した職業紹介・人材派遣のエキスパート企業です。

[ニッケン・キャリア・ステーションの強み・特長とは…]

- ・業界特化の職業紹介会社：業界に精通し、質量共に充実の技術職仕事紹介を主体に行っています。
- ・日建学院グループ：グループの持つ全国ネットを活用した広域での職業紹介も可能です。2011年、グループ全体で「教育」と「就職」の一体型事業を

開始。全国10ヶ所にニッケン・キャリア・ステーションの直轄施設「NCSジョブ・サーチ・センター」を開設し、充実した求職・転職サポートを目指しています。

・「心をこめたお手伝い」：コンサルティングを通し、若手からシニア層まで、その方の可能性を拓ける前向きな就職・転職のお手伝いを行っています。

本社：東京都豊島区池袋

大阪支店：大阪府大阪市北区

NCSジョブ・サーチ・センター：札幌・仙台・群馬・新潟・金沢・浜松・岡山・福岡・熊本・沖縄

■ 日建学院(建築資料研究社)

…ニッケン・キャリア・ステーション親会社

全国133校、建築系国家資格取得教育業務を主体に、建築関連専門誌の発行なども手掛ける企業。建築系資格取得では2009年40周年を迎え、毎年約10万人の講座終了実績があります。

■ 登録希望のお申し込みは…

直接「ニッケン・キャリア・ステーション」へご連絡下さい。

求職登録は「ニッケン・キャリア・ステーション」へ電話もしくはメールで、連絡。窓口の担当から今後の流れをご説明致します。

*登録から仕事の紹介まですべて無料です。

*個人情報など厳守されます。

■ お仕事ご紹介システムのご案内



【求職登録申込連絡先】

☎ 0120-810-298
TEL 03-3980-5181
FAX 03-3980-5552
✉ info@nikkenos.co.jp



学園創立125周年記念事業募金の更なるお願いと中間ご報告

学園創立125周年記念事業の一環として、校友会は募金目標金額を定め、各同窓会・各支部に募金活動を展開しご協力をお願いしていることは周知のことかと思います。

お陰さまで募金にご理解ご協力頂きかなりの方々のご賛同を得てきましたが、校友会の目標金額は3億円です。
目標金額にまだまだ至っておりません。募金活動を行い約3年経過した平成22年12月現在の募金額は6751万円でその達成率は22.5%です。

この結果から判断致しますと、目標達成が非常に困難な状態です。また、経済情勢も不透明で世情も好ましい話題は極めて少なく校友の皆様方には、更なるご協力と御理解・御支援のほどお願い申し上げます。

【校友会募金目標金額と平成22年12月31日現在の実績】

〔校友会および各同窓会実績〕

	目標金額(円)	実績金額(円)	実績人数(人)	達成率(%)
(同窓会分担額)				
1)機械系同窓会	55,300,000	10,655,000	164	19.3
2)応化会	41,100,000	6,041,000	106	14.7
		注1 (50,000)	(1)	(1.2)
3)電気電子情報同窓会	53,900,000	16,200,000	131	30.1
4)建築系学科同窓会	52,600,000	7,102,000	100	13.5
5)附属高等学校同窓会	25,400,000	2,406,000	51	9.5
		注1 (350,000)	(1)	(1.3)
6)専門学校同窓会	51,700,000	2,708,000	55	5.2
		注1 (1,000,000)	(1)	(1.9)
(計)	(280,000,000)	(45,112,000)	(607)	(16.1)
(団体扱い分担額)				
校友会	20,000,000	20,000,000		100.0
支部・その他		注2 2,402,877	14	-
合 計	300,000,000	67,514,877		22.5

注1：()内は同窓会の団体寄付分の内訳
注2：支部・その他 の内訳明細は 鹿児島県支部20,000円 校友会有志(募金箱)4,175円
体育会連合OB会支部100,000円 ヨット部OB会 100,000円 京滋支部 50,000円
(株)梓設計工学院大学OB会1,140,000円 校友会有志(H22総会出席者)61,868円
島根県支部100,000円 空手道部OB会100,000円 (株)弘電社卒業生有志一同50,000円
関電工支部100,000円 東京支部125,000円
湘南支部51,934円 ボクシング部OB会100,000円 兵庫県支部300,000円

〔会員の所属都道府県別実績〕

支部名	募金目標額(円)	募金実績(円)	実績人数	達成率(%)	支部名	募金目標額(円)	募金実績(円)	実績人数	達成率(%)
北海道	2,200,000	280,000	8	12.7	愛知	2,200,000	228,000	10	10.4
青森	1,100,000	40,000	1	3.6	三重	1,000,000	20,000	1	2.0
岩手	1,300,000	0	0	0.0	京滋	900,000	290,000	4	32.2
宮城	1,300,000	100,000	4	7.7	(奈良)		注3(50,000)	(1)	
秋田	900,000	0	0	0.0	大阪	1,100,000	24,000	3	2.2
山形	1,100,000	122,000	4	11.1	兵庫	1,200,000	390,000	5	32.5
							(300,000)	(1)	(25.0)
福島	2,900,000	135,000	7	4.7	和歌山	200,000	0	0	0.0
茨城	7,500,000	180,000	10	2.4	鳥取	200,000	70,000	2	35.0
栃木	4,900,000	307,000	10	6.3	島根	500,000	112,000	3	22.4
							注3(100,000)	(1)	(20.0)
群馬	4,800,000	115,000	4	2.4	岡山	700,000	0	0	0.0
埼玉	42,500,000	1,772,000	59	4.2	広島	1,700,000	190,000	5	11.2
千葉	19,800,000	1,488,000	45	7.5	山口	700,000	300,000	3	42.9
東京	100,350,000	24,084,000	250	24.0	徳島	300,000	0	0	0.0
		注3(125,000)	(1)	(0.1)					
川崎	5,500,000	955,000	18	17.4	香川	500,000	0	0	0.0
横浜	12,700,000	1,661,000	24	13.1	愛媛	600,000	0	0	0.0
湘南	6,600,000	1,361,934	32	20.6	高知	500,000	30,000	2	6.0
		注3 (51,934)	(1)	(0.8)					
相模	13,400,000	7,533,000	25	56.2	福岡	1,200,000	100,000	5	8.3
新潟	4,000,000	321,000	11	8.0	佐賀	300,000	20,000	1	6.7
新潟	4,100,000	250,000	7	6.1	長崎	400,000	0	0	0.0
富山	2,200,000	0	0	0.0	熊本	400,000	20,000	1	5.0
石川	1,400,000	15,000	2	1.1	大分	600,000	100,000	4	16.7
福井	600,000	30,000	2	5.0	宮崎	600,000	0	0	0.0
山梨	4,900,000	75,000	4	1.5	鹿児島	700,000	40,000	2	5.7
							注3(20,000)	(1)	(2.9)
長野	6,200,000	170,000	6	2.7	沖縄	700,000	62,000	4	8.9
岐阜	900,000	125,000	1	13.9	外国	50,000	60,000	2	120.0
静岡	9,600,000	783,000	19	8.2	静岡県県民会	280,000,000	43,958,934	610	15.7

注3：()内は団体扱分

【法人役員の推薦】

本年度は法人役員の改選期にあたり、校友会から推薦の各役員について下記の通り決定致しましたのでお知らせします。

◆H23年度～H25年度校友選出法人評議員(H23.4.1～H26.3. 31)

会長・会長推薦	高田 貢	田中 英生	
機械系同窓会	福田 忠彦	関谷 重彦	近藤 智
応化会	佐藤 浩安	大津幹太郎	白井 精滋
電気電子情報同窓会	長嶋 秀世	鷹野 一朗	小沢 和重
建築系学科同窓会	谷口 宗彦	後藤 敏明	加藤 隆弘
附属高等学校同窓会	三宅 捷夫	若林 勝司	小川 隆
専門学校同窓会	山本 清	阿部 洵	酒井 史生

- ◆法人理事 高田 貢(S37 大学電気卒) 長嶋 秀世(S41 大学院電気卒)
- ◆法人評議員会副議長 福田 忠彦(S37 大学機械卒)
- ◆法人評議員会副議長職務代理 後藤 敏明(S51 大学建築卒)

工学院大学 校友子女特別選抜入学試験を実施します！

工学院大学では入学を希望される校友の皆様の子女を対象にした特別選抜試験を2008年度から実施しています。

工学院大学校友会では、校友の皆さまの技術者への志、120年を超えて技術者を育成してきた学園の建学の精神が、この選抜試験により次の世代にまで継承されることを大いに期待しております。

概要、過年度の入試結果は次のとおりですが、詳細につきましては必ず工学院大学アドミッションセンター入学広報課発行の募集要項（9月上旬から配付、無料）をご確認ください。

出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ①高等学校もしくは中等教育学校後期課程を卒業した方
および2012年3月卒業見込みの方、又は高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方。
- ②本学園（大学・大学院・高等学校・中学校・専門学校
およびこれらの前身の学校を含む）卒業生・修了生の子、孫、甥、姪。
- ③高等学校もしくは中等教育学校後期課程の全体の評定平均値が3.2以上の方。

共通事項

学 部	学 科	若干名	校友子女特別入学				校友教諭在職特別入学			
			2011年度		2010年度		2011年度		2010年度	
			志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
工学部第1部	機械工学科		0	0	1	1	0	0	1	1
	機械システム工学科		0	0	0	0	0	0	0	0
	応用化学科		0	0	2	2	0	0	0	0
	環境エネルギー化学科		2	2	0	0	0	0	0	0
	電気システム工学科		0	0	1	1	0	0	0	0
	情報通信工学科		0	0	0	0	0	0	0	0
	建築学科		-	-	0	0	-	-	1	1
	建築都市デザイン学科		-	-	2	1	-	-	0	0
建築学部	まちづくり学科				-	-			-	-
	建築学科		2	3	-	-	1	1	-	-
	建築デザイン学科				-	-			-	-
情報学部	コンピュータ科学科		5	5	3	1	0	0	2	1
	情報デザイン学科		1	1	4	3	0	0	0	0
グローバルエンジニアリング学部	機械創造工学科		0	0	0	0	0	0	0	0

注) 建築学部（まちづくり学科、建築学科、建築デザイン学科）は、3年次に学科を選ぶ「建築学部一括」での募集となります。
校友教諭在職高校特別推薦は、工学部第2部でも実施しています。

選考方法

書類審査、面接、基礎学力調査（数学、英語）

注) 工学部第2部は、校友教諭在職高校特別推薦のみ実施。

選考日：11月12日（土）

選考場所：工学院大学新宿キャンパス

合格発表：11月19日（土）郵送で通知します。

試験日程

出願期間【郵 送】 10月24日（月）～10月31日（月）
消印有効

【窓 口】 10月24日（月）～11月1日（火）

問合せ・試験要項請求先

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学 アドミッションセンター入学広報課

TEL：03-3340-0130 FAX：03-3342-5304

ホームページ：<http://www.kogakuin.ac.jp>

工学院大学 校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施します！

工学院大学では、2009年度入試から校友教諭在職高校特別推薦入学試験を実施しています。これは、工学院大学を卒業または修了された校友が教諭として勤められている高等学校に、これまでの指定校推薦などとは別に推薦枠を設ける特別推薦入試です。

工学院大学校友会では、校友の皆様を通じたこの推薦試験により、学園の建学の精神に共感した意欲あふれる生徒の皆さんが入学されることを大いに期待しております。

本試験の概要は次のとおりですが、ご関心のある校友の先生は是非とも工学院大学アドミッションセンター入学広報課までご連絡ください。

推薦対象高校

工学院大学を卒業または修了後、5年以上経過した方が本特別推薦入試出願時に専任教諭（以下「校友教諭」と言います。’教職歴5年以上’ではありません。）として在職している高等学校を対象とします。

推薦人数枠

1 高等学校あたり2名までとします。出願には当該高等学校長の推薦を必要とします。

推薦基準点

推薦基準点は設けません。

出願までの流れ

- 1) 本入学試験の詳細問い合わせ
(校友教諭 ⇒ アドミッションセンター)
- 2) 募集要項送付 9月上旬
(アドミッションセンター ⇒ 校友教諭)

3) 出願

(受験者 ⇒ アドミッションセンター)

出願資格

次の要件をすべて満たしている方

- ① 高等学校もしくは中等教育学校後期課程を2012年3月卒業見込みの方。
- ② 工学院大学を卒業または修了後5年以上経過し、現在当該校に在職している専任教諭から、人物、学力とも優れていると認められた方。
- ③ 当該学校長から推薦を受けた方。
- ④ 本学の教育目的を充分理解した上、本学で学ぶことを強く希望する方。

教員をなさっている卒業生・修了生の皆様、情報をお寄せください。

工学院大学教職課程からのお願い

皆様ご存知のとおり2009年度から教員免許更新制が実施されることになりました。それに伴い、本学でも更新講習の開催準備をしております。詳細については改めて御案内いたしますが、卒業生・修了生の皆様にはぜひ本学での更新講習を受講いただくようお願い申し上げます。

この機会に本学卒業生・修了生で教員をされている皆様のネットワークを作りたいと存じます。卒業生・修了生で教員をされている皆様、学校種（小、中、高、特別支援等）や採用形態（常勤・非常勤等）にかかわらず、次の事項をお知らせくださるようお願い申し上げます。また友人、先輩、同僚など同窓生で教員をされている方をご存じの場合も合わせてお知らせ下さい。

- 1) お名前、2) 卒業学科（修了課程）、3) 卒業（修了）

年月、4) 取得免許状、5) 勤務校、6) 担当教科、7) 役職、8) 資料等送付先（自宅住所または勤務先所在地）、9) 電話番号、10) FAX 番号、11) メールアドレス

連絡は、郵便、FAX、メールのいずれでも結構です。提供いただいた情報は大学として責任を持って管理し、大学としての資料送付と連絡にのみ利用し、それ以外での利用をしません。

※今後、教員になる予定の方のご連絡もお待ちしております。

<連絡先> ☎ 163-8677

東京都新宿区西新宿 1-24-2

工学院大学教員免許状更新講習担当（宇治原）

電話；03-3340-0947 FAX；03-3342-5304

e-mail；jimu-koshin@sc.kogakuin.ac.jp

校友会各部会の平成22年度活動報告

総務部

1・平成22年度校友会評議員会・総会および懇親会の開催

評議員会・総会は例年通り5月の最終日曜日(5月30日)に開催いたしました。前年度の反省を踏まえつつ事前の準備を入念に行いスムーズに進行することが出来ました。それでも長時間にわたる会議並びに懇親会で出席者の疲労は隠せない様子でした。次年度に向けての更なる工夫、改善を重ねてまいります。

2・常任理事会・理事会の開催

常任理事会12回、理事会は臨時を含め9回を開催致しました。この中で1つ遺憾なことは校友理事の不祥事がありこれに対する初めての懲戒委員会が開催されたことです。その結果は理事の辞任並びに校友会活動の停止となりましたが、このような不祥事を二度と起こさないようお互いに肝に銘じたいと思います。

3・一般社団法人への移行への準備と分科会活動の開始

一般社団法人への移行準備は情報収集の段階を終え常任理事、理事、支部長、同窓会会長等での研鑽を終え、これらの代表からなる5つの分科会(定款G・社員総会G・役員組織G・同窓会支部G・資産会計G)を組織し11月はじめより具体的な議論を始めております。途中経過を相互にすり合わせしながら進めており次の総会ではその進捗状況をご報告し、来年の総会にてご承認を頂く予定で進行中です。



部長
福田 忠彦



副部長
大津 幹太郎



副部長
飯塚 辰典

4・校友会各種データの電子データ化推進

データの電子化については逐次メンテナンスを行うと同時に、校友からの種々の要求にお応えして参りました。

5・その他校友会の運営に必要な各種取り組み

校友会談話室の使用規定等各種規定の見直し改定、その他必要事項の推進に取り組みました。また、今年度立ち上がりました学園連携部で推進された卒業生バックアップセンターに対する各種問い合わせに対する事務局としての対応、その他の各種問い合わせへの対応などで多忙を極める一年でした。

校友に対するよりきめ細かな対応と更なる効率化を推進することが課題と認識しております。校友の暖かな見守りをお願いいたします。

以上

メンバー 福田忠彦、大津幹太郎、飯塚辰典、岩田秀明、横田 仁、久禮和彦、島林正美、関谷真一、安宅長信

財務部

1. 平成21年度収支決算と平成22年度予算(案)をまとめ、5月の評議員会・総会で報告した。

- ・平成21年度収支決算処理を実施し、監事による会計監査を受けた。
- ・特に問題なく、承認された。

2. 校友会会計処理チェックと残高確認を四半期ごと4回実施した。

- ・会計処理チェックマニュアルを都度改訂して、制度変更や監事からの指摘事項等のチェック漏れをなくし、資金運用及び財務内容の確認をした。

3. 校友会監事による単体同窓会の会計監査(平成21年度)を支援した。

- ・附属高等学校、電気電子情報・・・7月17日に八王子で実施した。
- ・機械系、専門学校・・・7月31日に新宿で実施した。
- ・応化会、建築系学科・・・8月7日に新宿で実施した。
- ・特に問題はなかった。
- ・校友会監事による会計監査は、新役員任期後も継続して実施することになった。

4. 維持協力会費の増収支援をした。

- ・同窓会別実績表を作成して関係する部門へ協力要請をした。



部長
並木 光雄



副部長
小沢 和重

5. 平成23年度予算(案)を作成した。

- ・より有効な予算(案)を策定するため、予算編成前に各部の事業計画と予算内容を予算検討事前審議会で審議した。
 - ・中期計画(3年)で予算編成をして、予算(案)を作成した。
- ### 6. 一般社団法人へ移行の検討を移行準備分科会と進めた。
- ・財務関連の資産・会計に関する定款(案)、正味財産と処分内容等につき検討した。
 - ・財務諸表を見直し、現行の会計ソフトを“平成20年施行公益法人会計基準対応”ソフトに更新する検討をして、平成23年度予算に計上した。

メンバー 並木光雄、小沢和重、浅見利夫、和田欣也、田中久弥、田中正裕、小林保男、西原康二、相澤良夫

企画・広報部門

【平成23年度】企画・広報部 活動計画

企画・広報部の役割は、校友会報誌および関連情報の発刊と校友会ホームページの刷新、運営が主な活動で、1回/月のペースで打ち合わせを重ねている。

昨年、校友会本部が新体制に替ったのに伴って当部会の理事メンバーも代わり、動きやすい環境の整備と分野毎の作業を全理事の共有情報とし、相互支援できる体制を構築して進めたいと考えている。前年に引き続き、学園が創立125周年を迎える行事に関連して、永い歴史の中での卒業生の活躍を紹介した内容の充実、誌面のカラー化、表紙のコンペ募集、広告掲載(卒業生の活躍企業紹介)などに取り組み、67,000部を校友や学生へ配布している。

会報の評価を確認のため、毎年、総会時にアンケート調査を実施しているが、概ね及第点を得る評価を頂いている。その結果を踏まえ、次号Vol.132号は前年度の企画を継承して編集作業を進めるつもりでいる。

- 1)活動方針 当部会では、タイムリーなホームページの改定と情報ネットの運用と維持、および校友会報の更なる充実を図ること。また、各単体同窓会や全国各支部と連携を取り、校友会員へ情報の提供を図ることを目的に活動を行う。
- 2)活動項目 広報分野、編集分野、広告収集分野、活動調整分野
- 3)今後の取り組み 各分野の課題見直し、会報とホームページの充実、周辺部署との円滑な折衝、等々。



部長
三宅 捷夫



副部長
佐久間 惣喜

●校友会報2011.Vol.132号の主な内容

- ・表紙はコンペ優勝の校友の作品「我が母校を臨む」を採用した。
- ・校友会関連記事として、新任支部長11名のプロフィールを掲載している。
- ・創立125周年特別企画 茅原 健 先生 「 日比谷公園 松本楼創始者 山坂梅吉 」
吉田司雄 先生 「 探偵小説と明治の築地 」
- ・各同窓会卒業生の記事 機械系同窓会 坂口雅昭氏 「 企業が求める人材とは 」
化学系同窓会 合田房雄氏 「 未来に挑め 今 その時 」
電気系同窓会 小林敏孝氏 「 睡眠とその改善法 」
建築系同窓会 澤崎 宏氏 「 平安遷都1300年祭の全体計画 」
附属高校同窓会 土田昭一氏 「 リユース・特殊クリーニング 」
専門学校同窓会 小山晃一郎氏 「 神様のお手伝い 」

以上

企画広報部会 理事メンバー

三宅捷夫、佐久間惣喜、田村久義、吉川重克、名取勝敏、大場光博、鈴木敏彦、木本勝正、佐藤敏勝

組織・事業部

平成22年度組織・事業部活動計画(下記新メンバー、第1回会議4月16日にて計画)

1. 部会:年間6回の開催日を決定。PDCAと担当を決めた。
2. 支部活性化:休眠支部。企業支部設立。論文博士取得者及び特別教職課程修了者のメンバー化の検討。
3. 支部総会:校友会及び学園報告、125周年記念事業への募金のお願い、校友子女特別選抜、第17回全国(埼玉)大会等の説明をする。
4. 全国支部長会開催:審議事項「第17回全国(埼玉)大会の支援」「校友会の一般社団法人への移行と支部の位置付けについて」
5. 第17回全国大会(埼玉)大会:準備支援
6. 大学後援会との連携:学園連携部とともに実施。
7. 新年会「新春の集い2011」:再度参加人数300名突破
8. 125周年記念事業募金:募金委員会、同窓会、支部と連携図り遂行



部長
来住 康弘



副部長
谷 政美

進捗報告(上の項目に対応しております)

1. 予定より1回多い7回の部会を実施した。中でも全国支部長会の準備は資料が多く、部員間メール通信で対応した。今回マニュアル化が出来た。
2. 現在校友会にて一般社団法人化への移行準備委員会を立ち上げている。この委員会での結論に従って活動をする。
3. 一般社団法人へ移行するに伴う支部の位置付け問題があるので、積極的に参加した。
4. 11月2日、全国から40名の支部長が参加し審議事項2件を活発に討議して頂いた。
- 「校友会の一般社団法人への移行と支部の位置付けについて」は継続審議となる。
5. 開催場所を新宿校舎に代え、再計画した。
6. 後援会の埼玉、山梨、中京、近畿の4つの支部総会に参加をした。
7. アトラクションに中・高吹奏楽部を迎え、校友のみで305名の参加があり目標達成した。
8. 景気低迷も関係していると思うが、低調である。引き続きご協力をお願いをする。

メンバー

来住康弘、谷政美、南弘、唐鎌貞郎、菊地正、白井精滋、加藤隆弘、小口俊明、岡安彰、小倉将宏

学園連携部

平成23年度の主な事業計画

1. 2011年度校友子女特別入試の案内
2. 第11回ホームカミングデーの支援
3. 大学後援会との連携
4. 卒業生バックアップセンターの運用と普及

平成22年度の活動報告

1. 2011年度校友子女特別入試案内
昨年、案内書を作成し15,500部を7月下旬に発送し、10月27日申込みを締め切り、11月6日に試験が実施され、11人の合格者があった。
2. ホームカミングデーの支援
学園主催の行事であり、第8回より学園連携部として行事支援を具体的にこなすようになり(第8回から支援を開始)、参加者の呼びかけと、運営の手伝いを行った。
2011年は、10月に校友会支部の全国大会が、新宿キャンパスで開催され、その約1ヵ月後(11月3日)に、第11回ホームカミングデーが開催されるため、早い時期から学園側と打ち合わせの機会を設け、支援の予定である。
3. 大学後援会の埼玉支部および山梨支部の父母懇談会に参加し、父母と就職情報等の懇談を行なった。
4. 卒業生バックアップセンターの運用と普及
学園連携部の最重要テーマであり、平成22年5月31日に開設(オープン)した。
このシステムに加入できる者は、本学園(大学(院生含む)、専門学校、高校)卒業生のみで、対象者であれば何方でも加入できる。
また、このシステムは、卒業生の転職・再就職等の情報収集に活用でき、更に、加入者相互、独自のサークル結成も可能である。
現在の加入者は、400人強で、多くの校友に主旨をご理解頂き、更なる加入をお願いし、普及に努める所存である。



部長
佐藤 浩安



副部長
渡辺 征三

担当理事 佐藤浩安、渡辺征三、近藤 智、遊馬靖美、鷹野一朗、後藤敏明、住野和男、小川 隆、坂口教子

校友会事務局からのお知らせ・お願い

「卒業生バックアップセンター」が平成22年4月から開設されております。これは、工学院大学の卒業生だけが利用できる高性能なWebサイトです。卒業生限定の転職情報が見られる「キャリアアップ」や同窓生を検索できる「コミュニティ」など暮らしを彩る、色々な機能が充実しています。転職活動や技術交流、懐かしと同じ研究室や同窓生との連絡・交流に是非とも活用下さい。また、未登録の会員の方は、校友会報2～3ページに登録方法を分かり易く紹介しておりますのでご覧の上登録をして下さい。何か不明の点がありましたら校友会事務局までお問い合わせ下さい。

維持協力会費納入のお願い

在学中に納入いただいている終身会費だけでは校友会の運営が難しくなっております。工学院大学校友会としては、学園に対して今まで以上の支援を考えております。平成22年度の維持協力会費の実績は、550名の方々からのご協力をいただき2,000千円の実績となっておりますが、皆様方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

E-mailアドレスをお持ちの方は是非お届け下さい

平成14年3月から会員に対してE-mailによる情報ネット発信態勢の構築に取り掛かっており、現在、4200名の登録があります。定期的に学園や校友会の情報を発信しておりますのでE-mailアドレスをお持ちの方(携帯電話は不可)、一度お届け後変更された方は同封の総会出席通知にご記入の上、投函下さいますようお願いいたします。なお、既に情報を受け取られている方は再登録の必要はありません。

工学院大学校友会STEC VISAカードのご案内

工学院大学校友会STEC VISAカードは、

- 1.工学院大学校友会会員・在学生ならびに教職員の方と家族だけがご持ちいただけるエンブレムカードです。
(工学院大学校友会と三井住友カード㈱が提携発行する公認カードです)
- 2.会員の方がこのカードをお使いになると、その利用額に応じた提携手数料が還元金としてカード会社から校友会に入金され、学園援助費、学生・生徒活動の援助費の一部に充当されます。なお、カード使用に当たっては通常のクレジットカードと同じ手数料以外は一切負担となることはありませんので申し込み希望の方は同封の総会委任状の連絡欄に○印をつけてご返送下さい。この件のお問い合わせは校友会事務局までお願いいたします。

訃 報

次の方々がご逝去されました。ご生前のご活躍を偲び謹んでご冥福をお祈りいたします。

広島県支部相談役 上船 幸喜氏(平成22年9月28日)
元埼玉県西支部長 細田 博氏(平成23年2月22日)

校友会のホームページを開いて見て下さい。

校友会のホームページは、各種の行事案内と報告、会員に関係のあるトピックスなど情報満載です。全国大会や総会・新年会の写真もたくさん掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。事務局の休業日等も掲載されており、ご来校の予定の前にはご確認頂くこともできます。

校友会HP URL : <http://www.kogakuin.or.jp>

TEL 03-3342-2064・03-3340-1649 FAX 03-3342-2035

E-mail jimukyoku@kogakuin.or.jp

「第66回評議員会・第55回総会」開催のお知らせ

- 1.日 時 平成23年5月29日(日) 13:00～
 2.場 所 新宿キャンパス 3階「アーバンテックホール」
 3.議 案 第1号議案 平成22年度事業報告承認の件
 第2号議案 平成22年度収支決算ならびに財産目録承認の件 監査報告
 第3号議案 平成23年度事業計画(案)承認の件
 第4号議案 平成23年度収支予算(案)承認の件
 4.報告事項 一般社団法人移行問題、学園創立125周年記念事業募金の件、青森県支部問題、他

(注1) 本誌同封封書により、折り返し出欠についてご回答下さい。封書は80円切手をお貼り下さい。
 (注2) 定款施行細則により、当該議事について意思表示のない場合は同意の意思があったと見なして出席者に加えることが出来ることになっておりますのでこの点予めご了承下さい。
 (注3) 評議員会・総会で意見のある方は事前に事務局までFAX03-3342-2035にてご意見をお寄せ下さい。

「総会当日のプログラム」

- | | |
|--|---|
| ◆ 評議員会・総会
受 付 ● 12:30 ～
開 会 ● 13:00
議 事 ● 13:30 ～ | ◆ 学園近況報告・学生、生徒の表彰式
● 15:00 ～
◆ 懇 親 会(於 食堂)
● 16:20 ～ |
|--|---|

記 念 講 演 会 の お 知 ら せ

例年、定時総会に同時開催しておりました学術講演会は、本年よりエクステンションセンターとの共催で、下記の日時に開催することになりました。終了後は懇親会も予定しておりますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 平成23年6月25日(土曜日) 午後2時～4時
 場 所 新宿校舎 3階 アーバンテックホール
 講 師 宮下 正昭(工学院大学附属中学高等学校校長)
 南雲 紳史(工学院大学工学部応用化学学科教授)



宮下 正昭



南雲 紳史

演題 「有機合成におけるクロスカップリングと私——2010年ノーベル化学賞によせて」

受賞者の一人、鈴木章先生が工学部を退職された年に、鈴木先生ご出身の北大理学部化学科有機化学第二研究室教授に着任された宮下正昭先生は、その後本学応用化学学科教授を経て現在附属中学高等学校長です。宮下先生から、今回の受賞業績をわかりやすく解説頂きます。また、ノーベル賞受賞を実現しようと北大の先生方が中心になって、2005年から毎年「クロスカップリング反応」国際会議を開催されてきましたが、アーヘンでの第1回会議で、鈴木、根岸両先生と共に過ごされた時のエピソードも交えながら御紹介頂く予定です。

ノーベル賞受賞が決定した直後のフジTVニュースに、午後9時過ぎに皓皓と明かりをともし、学生達が元気に実験している応用化学科南雲研究室が、関連研究室として紹介されました。南雲紳史教授は薬理活性をもった天然物の合成研究、特に新しい抗癌剤の合成に挑戦されていますが、それにはクロスカップリングの利用が鍵だそうです。医薬品合成におけるクロスカップリング反応の有用性について、最新の話題をご紹介します。

学 生 ・ 生 徒 の 表 彰 報 告 (平成22年度総会において)

大学院	専 攻	氏 名	工学部2部	情報通信メディア工学科4年	杉山 和広
	機械工学専攻2年	杉山 武令	情報学部	コンピュータ科学科3年	荒井 宏城
	化学応用学専攻2年	永井 昭兆	情報学部	情報デザイン学科4年	赤坂 優哉
	電気・電子工学専攻1年	鶴澤 寧大	工学部1部	建築系学科2年	佐藤康太郎
	情報学専攻1年	坂本 亮	工学部1部	建築系学科2年	増田 健一
	建築学専攻2年	小室 詠美	工学部1部	建築系学科2年	本橋 秀和
			工学部2部	建築系学科2年	廉野 佑樹
大 学	専 攻	氏 名	附属高等学校	学 年	氏 名
工学部1部	機械工学科2年	内山 将太		中高一貫コース3年	松本 彩花
工学部1部	機械工学科2年	手塚 暁		文理特進コース3年	牛嶋 珠理
工学部1部	機械システム工学科2年	栗原 裕幸		普通コース2年	井上 悠希
GE学部	機械創造工学科2年	石川 大地	附属中学校	学 年	氏 名
工学部1部	応用化学科2年	古川 晃規		3年	榎本 光
工学部1部	応用化学科2年	吉田 和夏		2年	栗山 飛鳥
工学部1部	環境エネルギー化学科2年	光明賢太郎			
工学部1部	電気システム工学科4年	飯山 雄人			

第1号議案

平成22年度事業報告

平成22年度において下記の事業を行いました。

事業に関する定款条文	事業内容
1. 学校の教育施設に関する助成 (定款第5条第1項)	1. 学園援助費寄付
2. 学校に在学する学生・生徒の学習活動および 就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第5条第2項)	1. 学生・生徒の研修援助 ①優秀学生の表彰 ②学生の研修活動に対する援助・支援
3. 会誌および学術図書の刊行 (定款第5条第3項)	1. 校友会報131号の発行 2. 会員名簿の更新・住所ラベル等の発行
4. 学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第5条第4項)	1. 学術講演会開催(総会開催時) 2. 各支部単位での見学会の開催
5. 会員相互の親睦提携および学校との連絡を図る に必要な施設の設置 (定款第5条第5項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 評議員会・総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催(41支部 751人) 6. 学園支援へ向けた活動の実施 7. 第10回ホームカミングデー開催への積極的な後援 8. 第17回校友会全国大会(埼玉大会)開催準備 9. 学園が行なう社会活動への援助・支援
6. 学校が行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第5条第6項)	1. 就職の支援 2. 後援会との連携強化
7. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第5条第7項)	1. 学園創立125周年記念事業への積極的支援 2. 「卒業生バックアップセンター」の開設・運用開始 3. 一般社団法人への移行に伴う定款・細則の改定案検討

第3号議案

平成23年度事業計画(案)

平成23年度において下記の通り事業を行います。

事業に関する定款条文	事業内容
1. 学校の教育施設に関する助成 (定款第5条第1項)	1. 学園援助費寄付
2. 学校に在学する学生・生徒の学習活動および 就職活動ならびに教職員の調査研究の助成 (定款第5条第2項)	1. 学生・生徒の研修援助 ①優秀学生の表彰 ②学生の研修活動に対する援助・支援
3. 会誌および学術図書の刊行 (定款第5条第3項)	1. 校友会報132号の発行 2. 会員名簿の更新・住所ラベル等の発行
4. 学術に関する講演会および見学会等の開催 (定款第5条第4項)	1. 学術講演会開催 2. 各支部単位での見学会の開催
5. 会員相互の親睦提携および学校との連絡を図る に必要な施設の設置 (定款第5条第5項)	1. 新春の集い・懇親会の開催 2. 評議員会・総会後の懇親会の開催 3. 各支部の支援および支部組織の活性化 4. 各種同好会活動の支援 5. 各支部総会・懇親会の開催 6. 学園支援へ向けた活動の実施 7. 第11回ホームカミングデー開催への積極的な後援 8. 第17回校友会全国大会(埼玉大会)開催 9. 学園が行なう社会活動への援助・支援
6. 学校が行う就職の斡旋および紹介に関する援助 (定款第5条第6項)	1. 就職の支援 2. 後援会との連携強化
7. その他目的を達成するために必要な事業 (定款第5条第7項)	1. 学園創立125周年記念事業への積極的支援 2. 「卒業生バックアップセンター」の開設に伴う会員加入の促進 3. 一般社団法人への移行に伴う定款・細則の改定案作成

校友会事務局情報

第2号議案

平成22年度収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位:円 △印は予算超過金額)

科目	予算額	決算額	差異
【収入の部】			
基本財産運用収入	48,000	120,000	△ 72,000
基本財産利息収入	48,000	120,000	△ 72,000
会費収入	29,005,000	35,028,000	△ 6,023,000
会費収入	29,005,000	35,028,000	△ 6,023,000
協力会費収入	3,000,000	2,013,000	987,000
協力会費収入	3,000,000	2,013,000	987,000
寄付金収入	150,000	220,000	△ 70,000
寄付金収入	150,000	220,000	△ 70,000
雑収入	1,500,000	2,086,690	△ 586,690
受取利息・配当	80,000	458,188	△ 378,188
雑収入	1,420,000	1,628,502	△ 208,502
特定預金取崩収入	9,000,000	3,000,000	6,000,000
長期預金取崩収入	9,000,000	3,000,000	6,000,000
当期収入合計(A)	42,703,000	42,467,690	235,310
前期繰越収支差額	13,101,849	13,101,849	0
収入合計(B)	55,804,849	55,569,539	235,310
【支出の部】			
事業費	26,170,000	24,322,015	1,847,985
学園援助費	2,500,000	3,142,253	△ 642,253
学生生徒活動援助費	3,000,000	2,682,800	317,200
学生生徒奨励金	1,220,000	1,214,000	6,000
学園連携活動費	100,000	10,630	89,370
会報印刷費	4,800,000	3,889,400	910,600
発送作業費	470,000	266,065	203,935
郵送費	3,800,000	3,839,611	△ 39,611
印刷費	1,740,000	1,166,413	573,587
協力会費割戻金	690,000	825,210	△ 135,210
支部出張費	1,500,000	1,238,360	261,640
支部総会会費	150,000	142,500	7,500
後援会連携対策費	200,000	51,860	148,140
給与手当	4,450,000	4,455,643	△ 5,643
福利厚生費	150,000	125,575	24,425
全国大会費	1,000,000	1,000,000	0
校友ネットワーク構築費	300,000	271,695	28,305
消耗雑費	100,000	0	100,000
管理費	14,874,000	15,006,775	△ 132,775
総会費	1,200,000	1,238,622	△ 38,622
本部会議費	1,770,000	2,204,495	△ 434,495
その他会議費	2,250,000	2,623,897	△ 373,897
給与手当	5,200,000	5,138,089	61,911
福利厚生費	650,000	734,175	△ 84,175
旅費・交通費	50,000	5,940	44,060
通信費	1,224,000	852,629	371,371
振替手数料	120,000	83,910	36,090
事務用品費	500,000	524,111	△ 24,111
消耗品費	10,000	0	10,000
印刷製本費	100,000	83,650	16,350
修繕費	50,000	86,240	△ 36,240
賃借費	280,000	277,200	2,800
対外費	1,100,000	666,219	433,781
慶弔費	150,000	165,250	△ 15,250
公租公課	120,000	69,675	50,325
雑費	100,000	252,673	△ 152,673
資産取得支出	380,000	362,322	17,678
資産取得支出	380,000	362,322	17,678
予備費	1,000,000	-----	1,000,000
当期支出合計(C)	42,424,000	39,691,112	2,732,888
当期収支差額(A)-(C)	279,000	2,776,578	△ 2,497,578
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,380,849	15,878,427	△ 2,497,578

第4号議案

平成23年度収支予算書 (案)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位:千円 △印は前年度より減を示す)

科目	予算額	前年度予算額	増減
【収入の部】			
基本財産利息収入	120	48	72
会費収入(6同窓会)	32,320	29,005	3,315
協力会費収入	3,000	3,000	0
寄付金収入	150	150	0
雑収入	1,500	1,500	0
特定資産取崩収入	7,015	9,000	△ 1,985
当期収入合計	44,105	42,703	1,402
前期繰越収支差額	15,878	13,101	2,777
収入合計	59,983	55,804	4,179
事業費	26,860	27,420	△ 560
学園援助費	2,400	2,500	△ 100
学生活動援助費	3,000	3,000	0
学生生徒奨励金	1,220	1,220	0
学園連携活動費	0	100	△ 100
会報・出版費	8,320	9,070	△ 750
会報印刷費・取材費	3,750	4,800	△ 1,050
発送作業費	470	470	0
郵送費	4,100	3,800	300
印刷費	1,900	1,740	160
支部関係費	2,300	2,540	△ 240
協力会費割戻金	650	690	△ 40
支部出張費	1,500	1,500	0
支部総会会費	150	150	0
後援会連携対策費	0	200	△ 200
人件費	4,680	4,600	80
給与手当	4,550	4,450	100
福利厚生費	130	150	△ 20
全国大会費	1,500	1,000	500
新年懇親会費	1,250	1,250	0
校友ネットワーク構築費	240	300	△ 60
消耗雑費	50	100	△ 50
管理費	14,095	13,624	471
総会費	1,250	1,200	50
本部会議費	2,075	1,770	305
全国支部長会費	1,250	1,000	250
人件費	5,600	5,850	△ 250
給与手当	5,000	5,200	△ 200
福利厚生費	600	650	△ 50
旅費・交通費	50	50	0
通信費	1,160	1,224	△ 64
振替手数料	120	120	0
事務用品費	510	510	0
印刷・製本費	50	100	△ 50
修繕費	50	50	0
賃借費	280	280	0
業務委託費	1,100	1,100	0
慶弔費	150	150	0
租税公課	50	120	△ 70
雑費	400	100	300
固定資産取得支出	150	380	△ 230
資産取得支出	150	380	△ 230
予備費	3,000	1,000	2,000
当期支出合計	44,105	42,424	1,681
当期収支差額	0	279	△ 279

校友会事務局情報

平成23年度支部総会開催予定表

2011.3.31現在

支部 名称	開催日時	開催場所	支部 名称	開催日時	開催場所
湘南支部	4月23日(土) 15:00	藤沢産業センターコミュニティルーム2	宮城県支部	6月25日(土) 16:30	天狗
山口県支部	4月24日(日) 11:00	ホテル大谷山荘	山形県支部	6月25日(土) 18:00	山形国際ホテル
三重県支部	5月15日(日) 11:30	津市市内	高知県支部	6月25日(土) 18:00	早川
栃木県支部	5月15日(日) 13:00	ホテル ニューイタヤ	相模支部	7月 2日(土) 15:00	プロミティあつぎ8階D会議室
西湘支部	5月21日(土) 16:00	鶴巻温泉 梵天荘	島根県支部	7月 3日(日) 11:30	未定(出雲市内)
横浜支部	5月22日(日) 11:00	未定	東芝支部	7月 8日(金) 18:15	工学院大学新宿校舎2F第4会議室
長野県支部	5月28日(土) 17:00	ホテルブエナビスタ2Fレガロ	佐賀県支部	8月13日(土) 11:00	グランデはがくれ
埼玉県中央支部	6月 4日(土) 14:00	浦和コミュニティセンター第14集会室	北海道支部	9月 3日(土) 18:00	未定(札幌市内)
広島県支部	6月11日(土) 14:00	アルセ	東京支部	9月11日(日) 13:00	工学院大学新宿校舎
千葉県支部	6月12日(日) 13:00	鮎割烹みどり	福島県支部	10月 8日(土) 11:00	工学院大学新宿校舎
熊本県支部	6月12日(日) 16:00	未定	新潟県支部	10月22日(土) 13:20	響香
山梨県支部	6月17日(金) 18:30	ベルクラシック甲府	大分県支部	11月12日(土) 18:00	ホテル雄飛・とよ常
関東工支部	6月17日(金) 18:30	未定(都内)	沖縄県支部	11月19日(土) 18:30	サザンプラザ海邦
西東京支部	6月18日(土) 14:00	八王子クリエイトホール	京滋支部	11月26日(土) 18:00	きよみず
体育連合OB会	6月19日(日) 13:00	工学院大学新宿校舎			

本部役員・支部長メールアドレス一覧

校友会本部役員、各支部長への連絡は下記のe-mailアドレスをご利用下さい。(※校友会のサーバーに一定期間保管されます) 2011.3.31現在

名前	メールアドレス	名前	メールアドレス
会長	kaicyo@kogakuin.or.jp	横 浜支部	yokohama@kogakuin.or.jp
副会長	fukukaicyo@kogakuin.or.jp	相 模支部	sagami@kogakuin.or.jp
総務部長	somu-bucyo@kogakuin.or.jp	湘 南支部	syonan@kogakuin.or.jp
総務部副部長 1	somu-fukubucyo1@kogakuin.or.jp	西 湘支部	seisyo@kogakuin.or.jp
総務部副部長 2	somu-fukubucyo2@kogakuin.or.jp	石川県支部	ishikawa@kogakuin.or.jp
財務部長	zaimu-bucyo@kogakuin.or.jp	福井県支部	fukui@kogakuin.or.jp
財務部副部長	zaimu-fukubucyo@kogakuin.or.jp	長野県支部	nagano@kogakuin.or.jp
企画・広報部長	kikakukoho-bucyo@kogakuin.or.jp	愛知県支部	aichi@kogakuin.or.jp
企画・広報部副部長	kikakukoho-fukubucyo@kogakuin.or.jp	三重県支部	mie@kogakuin.or.jp
組織・事業部長	sosikijigyo-bucyo@kogakuin.or.jp	兵庫県支部	hyogo@kogakuin.or.jp
組織・事業部副部長	sosikijigyo-fukubucyo@kogakuin.or.jp	鳥取県支部	tottori@kogakuin.or.jp
学園連携部長	gakuenrenkei-bucyo@kogakuin.or.jp	島根県支部	shimane@kogakuin.or.jp
学園連携部副部長	gakuenrenkei-fukubucyo@kogakuin.or.jp	広島県支部	hiroshima@kogakuin.or.jp
監事	kanji@kogakuin.or.jp	山口県支部	yamaguchi@kogakuin.or.jp
事務局長	jimucyo@kogakuin.or.jp	香川県支部	kagawa@kogakuin.or.jp
事務局	jimukyoku@kogakuin.or.jp	高知県支部	kochi@kogakuin.or.jp
北海道支部	hokkaido@kogakuin.or.jp	福岡県支部	fukuoka@kogakuin.or.jp
青森県支部	aomori@kogakuin.or.jp	長崎県支部	nagasaki@kogakuin.or.jp
岩手県支部	iwate@kogakuin.or.jp	宮崎県支部	miyazaki@kogakuin.or.jp
宮城県支部	miyagi@kogakuin.or.jp	鹿児島県支部	kagoshima@kogakuin.or.jp
山形県支部	yamagata@kogakuin.or.jp	沖縄県支部	okinawa@kogakuin.or.jp
福島県支部	fukushima@kogakuin.or.jp	清水建設支部	shimz@kogakuin.or.jp
埼玉県中央支部	saitama-chuo@kogakuin.or.jp	日本電気支部	nec@kogakuin.or.jp
埼玉県西支部	saitama-nishi@kogakuin.or.jp	東 芝支部	toshiba@kogakuin.or.jp
東 京支部	tokyo@kogakuin.or.jp	関東工支部	kandenko@kogakuin.or.jp
西東京支部	nishi-tokyo@kogakuin.or.jp	学 園支部	gakuen@kogakuin.or.jp
川 崎支部	kawasaki@kogakuin.or.jp	体育会連合OB会支部	taiiku-ob@kogakuin.or.jp

平成22年度貸借対照表

平成23年3月31日現在

資産の部	金額	負債及び正味財産の部	金額
1.流動資産	4,363,174	1.流動負債	25,463,185
2.固定資産	166,247,848	2.固定負債	1,952,600
		3.正味財産	143,195,237
		(うち基本金)	(20,000,000)
合計	170,611,022	合計	170,611,022

(単位:円)

平成22年度財産目録

平成23年3月31日現在

資産の部	金額	負債及び正味財産の部	金額
流動資産	4,363,174	負債	
1.現金預貯金	4,363,174	1.一般預り金	293,185
		2.在学生会費預り金	25,170,000
		3.退職給与引当金	1,952,600
固定資産	166,247,848	正味財産	143,195,237
1.基本財産引当金	20,000,000	(うち基本金)	(20,000,000)
2.什器備品	745,048		
3.電話加入権	102,800		
4.長期預金	145,400,000		
合計	170,611,022	合計	170,611,022

(単位:円)

工学院大学オープンカレッジ

心豊かな人生

カレッジ長 松村 崇夫



工学院大学のオープンカレッジは、新宿の「総合文化の受発信基地」であり、「現代の寺子屋」をめざしています。

超高齢化時代を迎えて、社会は、すでに「人生80年モード」で走り出しています。老若男女を問わず、だれもが、有意義で楽しく、実り多き人生を送りたい、つまり「心豊かな人生」を望んでいます。社会を構成するのは、定年を迎えた人であり、主婦であり、サラリーマンであり、オフィス女性であり、学生らです。

オープンカレッジは、そうした様々な人たちの、とりわけ「生涯、学ぶ」意欲のある人たちのための、総合文化への「開かれた窓」です。大学の地域社会への「社会的貢献」が、いまほど求められている時代は、ないかもしれません。

工学系大学だからと、工学系の講座だけをめざしている訳ではありません。「人生80年」の時代です。生涯学びたいことは、分野や垣根を超えて、山ほどあります。ですから、工学系大学にふさわしい講座はもちろんのこと、社会人として、ごく当たり前に学んでおきたい教養・文化講座も、欠かせません。

「総合文化の受発信基地」であり、「現代の寺子屋」をめざすとしているのは、寺子屋の「よみ・かき」が、教養・文化講座だと

すれば、資格の取得や技術関係の講座は、「ソロバン」と位置づけるからです。社会が「人生80年モード」で動いている以上、「生死」に関する講座(たとえば、宗教や哲学、福祉・医療など)も、不可欠といえるでしょう。

ところで、オープンカレッジでは、2009年秋から「サイエンスカフェ」を始めています。ダーウィンの「種の起源」出版150年を記念した講座からスタートし、これまでにIPS細胞や宇宙、脳科学など、科学分野の「旬」の話題をテーマとし、講師と受講生が自由に話し合える双方向性の講座として、多くの方に受講いただいております。

それと、もう一つ、大学が2012年に創立125周年を迎えますが、大学にゆかりのある人物を取り上げて、「創立125周年記念」として、「大学ゆかりの人物シリーズ」講座も展開しています。これまでに昭和の俳人・藤田湘子、近代建築の先駆者・辰野金吾、日本の近代資本主義の生みの親・渋沢栄一、三菱の岩崎弥次・久弥らをとりあげており、帝国大学(東京大学の前身)の初代総長で、工手学校(工学院大学の前身)の創立者・渡辺洪基らと続きます。

春風や閑志いだきて丘に立つ 高浜虚子

本学の新宿キャンパスは、高層のビル群の中にあり、とすれば、無機質な、乾いた空間にある大学との印象さえ与えています。そうしたロケーションにある本学ですが、新宿駅に近いという地の利を生かして、私たちカレッジスタッフ一同は、多くの方たちに「心のうおい」「心のオアシス」と感じてもらえるような講座づくりを心がけます。どうか、気軽にお立ち寄りください。ご受講をお待ちしております。

曜日	講座名	【講師情報】講師名	開催日	時間
火曜日	宇宙につながる科学の話題	多摩六創科学館館長 高柳 雄一	2011/4/12,26,5/10,24,6/14,28	13:00~14:30(全6回)
	より快適・便利な鉄道にするために「鉄道を皆で育てよう」(シリーズA)	所ライトレール代表取締役社長 岡部 孝/千葉大学准教授 近藤圭一郎 工学院大学エクステンションセンター客員教授 曾根 信 千葉工業大学教授 富井 崇雄/工学院大学准教授 高木 亮	2011/4/12,26,5/10,17,6/7,21	19:00~20:30(全6回)
	プロの学びなおしの住宅リフォーム	工学院大学教授 吉田 伸郎/有明会社タナカ建設取締役代表取締役 田中 幸 アルコト建築設計事務所主宰 河合 春樹/有明会社studio harappa代表取締役 村島 正彰 一般社団法人住宅リフォーム推進協議会事務局次長 平井 祐一朗	2011/4/26,5/10,24,6/7,21,7/5,19,8/2,23,9/6	19:00~20:30(全10回)
水曜日	世界の台所シリーズ	一級建築士、芸術博士 宮崎 裕子	2011/4/13,5/11,6/8	13:30~14:30(全3回)
	列車の運転と信号「鉄道技術各論」(シリーズB)	千葉工業大学教授 高井 崇雄/日本大学教授 中村 英夫	2011/4/13,27,5/18,25,6/15,29	19:00~20:30(全6回)
	絵巻をイロハから学ぶ	絵巻ジャーナル編集長 堀上 謙	2011/4/13,27,5/11,25,6/8,22	14:40~16:10(全6回)
	実践・俳句を楽しむ	俳諧(漢)同人 安坂 まや	2011/4/20,5/18,6/1,15,29	13:00~15:00(全5回)
	成人性白濁ウイルス(HTLV-1)の発見からNPO スマイルリボンへの活動まで	工学院大学エクステンションセンター客員教授 小野寺 一清	2011/5/11,18,25	19:00~20:30(全3回)
木曜日	早稲田ビジネス英会話	日本英語学院講師	2011/4/13~7/27(5/4を除く) 予備日8/3	7:30~8:30(全15回)
	キャンパス英会話	日本英語学院講師	2011/5/11,18,25,6/1,8,15,22,29,7/6,13	13:15~13:55,14:00~14:40,14:50~15:30(全10回)
	鉄道産業とそのあり方「鉄道技術各論」(シリーズB)	(社)海外鉄道技術協力協会 広報情報部長 秋山 芳弘 独立行政法人交通安全環境研究所 交通システム研究課長 水間 毅 所ライトレール代表取締役社長 岡部 孝/千葉大学准教授 近藤圭一郎 工学院大学准教授 高木 亮	2011/4/14,21,5/12,26,6/9,16	19:00~20:30(全6回)
	タペのコンサート	トランペット・オカリナ奏者 沢本 智弘/ギター奏者 大森 拓 バイオリン奏者 竹内 直人/ギター奏者 田中 佳穂	2011/5/26,6/23	19:00~20:30(全2回)
	ドラマチックコミュニケーション	株式会社 MAN'ABILITIES代表取締役社長 岩原 秀徳(予定)	2011/6/23,30	18:30~20:00(全2回)
金曜日	キャンパス英会話	日本英語学院講師	2011/5/12,19,26,6/2,9,16,23,30,7/7,14	13:15~13:55,14:00~14:40,14:50~15:30(全10回)
	脳から読み解く行動のメカニズム ～発達・児童・工学の視点から 赤ちゃんの世界をのぞいてみるか	中央大学教授 山口 真美 コーディネーター 工学院大学准教授 瀧池 みゆき	2011/4/8	18:30~20:00
	脳から読み解く行動のメカニズム ～発達・児童・工学の視点から	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主幹研究員 竹内雅人 コーディネーター 工学院大学准教授 瀧池 みゆき	2011/5/13	18:30~20:00
	脳から読み解く行動のメカニズム ～発達・児童・工学の視点から	筑波大学・大学院講師 鈴木 愛理 コーディネーター 工学院大学准教授 瀧池 みゆき	2011/6/10	18:30~20:00
	人の生理・心理・物性特性の理解と人支援技術への応用	工学院大学特任教授 水島一貴 協子 工学院大学教授 榎本 淳一	2011/4/22,5/13,27 2011/5/22,6/3,17	14:40~16:10(全3回) 13:30~15:00(全3回)
土曜日	人物から見た古代日本と東アジア	シニアネットかしわ 秋田 正英	2011/4/27	13:30~16:30
	インターネットで自分で旅行プランを作ろう① 国内旅行編	シニアネットかしわ 秋田 正英	2011/5/20	13:30~16:30
	インターネットで自分で旅行プランを作ろう② 海外旅行編	シニアネットかしわ 秋田 正英	2011/6/10	13:30~16:30
	信頼度も高いGメールを活用しよう	シニアネットかしわ 秋田 正英	2011/5/27	13:30~16:30
	デジタル写真とビデオ(無料ソフト)で楽しもう	シニアネットかしわ 秋田 正英	2011/5/27	13:30~16:30
	パソコン講座 Windows 7 (基礎)	パソコンインストラクター くぼ ゆうじ	2011/5/13,20	18:30~20:00
	群馬国は、沖縄にあった?	筑波大学名誉教授 木村 政博	2011/4/9	14:00~15:30
	戦後65年~日本の政治は、どう変わったか	筑波大学教授 元朝日新聞コラムニスト 早野 遼	2011/4/16	14:40~16:10
	ロシアの女帝エカテリーナ二世をめぐる6つの話	神奈川大学名誉教授 中本 信幸	2011/4/16,30,5/14,28,6/11,25	10:30~12:00(全6回)
	昭和の詩人・西田順三郎と(わが師、わが友)	明治学院大学名誉教授 新倉 健一	2011/4/23,5/28,6/25	13:00~14:30(全3回)
日曜日	大谷隆雄と中央アジア	中央アジア史研究員 金子 麗雄	2011/4/23,5/21,28,6/25	13:00~14:30(全4回)
	初歩から学ぶ宇宙と素粒子	筑波大学副学長、工学院大学エクステンションセンター客員教授 藤 康夫	2011/5/14,28,6/11,25	10:30~12:00(全4回)
	建築 街の絵はがき	株式会社 豊田利樹園 一級建築士 平井 真夫	2011/5/14,28,6/11,25	10:30~12:00(全4回)
	Excelで家計簿	パソコンインストラクター くぼ ゆうじ	2011/6/18,25	15:30~17:00
	キャンパス英会話	日本英語学院講師	2011/5/14,21,28,6/4,11,18,25,7/2,9,16	13:15~13:55,14:00~14:40,14:50~15:30(全10回)
土曜日	知財試験対策講座1級	知的財産教育協会認定講師 井澤士 野中 剛	2011/4/16,23,5/14	11:00~17:00(全3回)
	知財試験対策講座2級	知的財産教育協会認定講師 井澤士 宮花 範隆	2011/5/21,5/28,6/4,6/11,6/18,6/25	13:00~17:00(全6回)
	1級建築士設計製図17-1講座	株式会社 豊田利樹園 一級建築士 平井 真夫	2011/5/14,28,6/11,25,7/9,23,8/20,27,9/10,24	13:30~16:30(全10回)
	2級建築士製図試験講座	建築責任者・小野里要一 / 設備・高橋敏郎(建築設備士) / 計画・佐藤敏昭(1級建築士)	2011/4/3,10,17,24,29,5/1,3,4,8,15,22,29,6/5,12,19,26(5/5を除く)	10:00~19:00(全16回)
	知財試験対策講座3級	知的財産教育協会認定講師 井澤士 上西 浩二	2011/5/29,6/5,12,19,26,7/3	13:00~16:00(全6回)

お申込み・お問い合わせ 受付時間:火~土曜日(日曜日・祝日は除く)10:00~19:00 03-3340-1457

戸建住宅用シャッターゲート サンゲート

●豊富なバリエーション

住宅デザインに合わせてコーディネート
できます。

●リモコンで開閉ラクラク

車内からボタンを押すだけで簡単に
シャッターを開閉できます。

●操作性、安全性にも配慮

シャッターの開閉スピードは従来の2倍。(当社従来比) 閉作中に障害物を検知
するとシャッターが反転・停止する障害物検知装置が付いています。



暮らしの中に 安全・安心・快適を



三和シャッター工業株式会社

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-3-5

<http://www.sanwa-ss.co.jp/>

株式会社リビング百十番ドットコム (三和グループ会社)

お問合せは: 03-5348-7533 カスタマーセンター: 03-3346-3011

顧問 渡辺 静雄 (電気工学科: 昭和39年卒 空手道部OB)

知的財産ビジネス支援の専門職集団 太陽国際特許事務所

所長・弁理士・博士(工学) 中島 淳 (S44 機械卒・H14 大学院電気電子卒)

機械建築担当弁理士	福田浩志 (副所長)	清武史郎*	堀江千鶴*	坂手英博*
	針間一成	鈴木悦郎	高橋尚子*	河野元浩*
	内田英男	江口和敬*	御橋優子*	上野敏範*
	澤田修孝	織部信次		
電気電子担当弁理士	加藤和詳 (副所長)	百瀬尚幸	美濃好美*	佐久間顕治*
	小早川千佳子	大古奈奈*	宮本治彦	大松崎明子
	渡瀬美江子			
化学材料担当弁理士	西元勝一	都野真哉*	上條由紀子*	下田世津子*
	小林美貴*	西山 崇*	早瀬貴介	長野みか*
	前嶋恒夫*			
バイオ医薬担当弁理士	山中裕子*	山極美穂	膝館祥治	渡邊裕子
	伊豫田順子			
商標法律担当弁理士	関島昌子*	高橋史保*	遠島丈大	
米国特許弁護士	シェルダン・モス	チャド・ヘリング		
中国弁理士	董 昭			
韓国弁理士	金 駿河			

*特定侵害訴訟代理業務付記

東京本部: 東京都新宿区新宿4丁目3番17号 〒160-0022

電話 (03) 3357-5171 (代表) ファクシミリ (03) 3357-5180 (代表)

<http://www.taiyo-nk.co.jp> 相談・連絡用 E-mail: info@taiyo-nk.co.jp

USオフィス: 米国バージニア州

電気設備 設計施工
太陽光発電システム・オール電化設備
設計施工
MAKINO 電力制御機器装置 設計施工

牧野電設工業株式会社

代表取締役 牧野 光洋
(1979年 専門学校電気科卒)

■本社

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-25-5
TEL 03-3313-2511(代表)
FAX 03-3313-2509

■甲府営業所

〒409-3864 山梨県中巨摩郡昭和町押越 1519-3
TEL 055-268-6016
FAX 055-275-4015

■ショールーム

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-45-17
コーヨービル1F
TEL 03-6454-6601
FAX 03-6454-6602

■U R L <http://www.makino-dk.co.jp/>

21世紀科学技術の発展とともに歩む

ABBE アッベ科学株式会社

《環境基本理念》

当社は「科学技術の発展とともに歩む」を基本理念とし
官公庁・大学・民間企業向けに分析機器・理科学機器の
販売をとおして、地球環境への影響を考慮し行動しま
す。



《主な取り扱いメーカー》

島津製作所／島津理化／ヤマト科学／テクニージャパン
日本ビュッヒ／バイオ・ラッドラボラトリーズ
ベックマン・コールター

本社 〒160-0015 東京都新宿区大京町29番地
TEL 03-3359-0361 FAX 03-3341-7913

営業所：つくば

TAIYO

TR-7530-30
救急コール 受信表示器
発信器番号表示
緊急発信
通話ボタンによる通話
通話中による通話
電源 緊急 解除 テスト
発信器番号表示 発信器番号表示 発信器番号表示

救急コール
海中転落・巻込み事故等に対応した救急支援連絡装置

多人数
向け

受信表示器1台で最大30台の発信器を制御できます。

小電力セキュリティの採用により免許は不要です。

救急信号受信時に、発信器やサイレンなどが自動で稼働！

緊急事態を即座に船内に知らせます。

太洋無線株式会社 www.taiyomusen.co.jp

本社営業部 〒144-0033 東京都大田区東糺谷2-11-18 TEL: 03-5735-1205
福岡営業所 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-2-11 TEL: 092-771-2367
神戸営業所 〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通4-9-26 TEL: 078-392-3717
上海代表処 中国上海市浦东新区東方路877號 嘉興大廈804室 TEL: 86-21-5130-8925
台湾太平洋無線股份有限公司 台湾高雄市中興區新街路288-6號2樓之2 TEL: 886-7-815-8075

校友会ホームページのご案内

URL <http://www.kogakuin.or.jp/>

校友会ではホームページを運営し、行事日程や
活動報告などタイムリーな情報や、支部、同窓会、
学園の案内などを提供しております。イベントの
記念写真などは校友会員の皆様だけがアクセスで
きる会員ページで閲覧できます。また住所変更や
各種問い合わせなどもメールで受付可能となっ
ていますので、一度覗いてみませんか？

STUDENT CENTER at Hachioji Campus since 2007

工学院大学校友会
<http://www.kogakuin.or.jp>

新春の集い2010

今日の様子
2010/1/16

工学院大学校友会のWEBサイトへようこそ！
本サイトは、卒業生・在校生・関係者の交流の場となることを目的に設置されています。
本サイトの利用について、詳しく説明していますのでご覧ください。

行事 会費振替 各同窓会へのリンク

企画・広報部からのお知らせ

校友会のホームページ

校友会に関する各種情報は、次のホームページをご覧ください。http://www.kogakuin.or.jp/
会員ページはパスワードが必要です。

工学院大学校友会事務局 E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp

次号 校友会報 (vol.133) の広告募集

「校友会報」の広告を下記の要領で募集します。皆様のご協力をお願い致します。

1. 募集対象・・・各企業、組織、団体の広告など。
2. 広告代・・・カラー/表紙裏1頁16万円、他12万円、1/2頁6万円/黒一色1頁10万円、1/2頁5万円
3. 募集メット・・・平成23年12月19日(月曜日)
4. 掲載・・・校友会報2012 Vol.133に掲載
5. 原稿送付先・・・校友会報事務局宛に郵送、電子メール等。E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
6. 原稿形態・・・Word 文書等の電子データを電子メール、または郵送。
7. 問い合わせ先・・・校友会事務局 TEL 03-3342-2064 FAX 03-3342-2035、E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
8. 発行予定・・・平成24年4月20日 9. 発行部数・・・約66,000部 10. 配布先・・・全国校友会員、学園関係者など

表紙デザインの説明

表紙デザイン／専修学校昭和36年建築科卒 佐久間 惣喜 「母校を臨む」

我が母校の新宿キャンパスは、首都東京の新宿副都心にあり、都庁と隣り合わせに位置しております。

いつかは母校と都庁舎と一緒に写った写真を撮りたいと考えておりましたが、その思いを「校友会報 132号」の表紙に載せたいと思い、応募しました。

一番苦労したのは建物上部にある大学のシンボルマークを可能な限り鮮明に写し出すことでしたが、我が母校の風格ある建物を表現できたと満足しております。

校友のご家族の方々にも御覧いただければ幸甚であります。



編集後記

昨年春、前任者から会報の編集を引き継ぎ、当部会の各理事の協力を得て、Vol.132号を発刊することが出来ました。初年度は前任者の主旨を踏襲しながらも新風を入れる努力を致しました。アンケートのご意見を参考に、誌面のカラー化、写真を多く、文字を最小限にする配慮を致しました。

また、学園創立125周年事業に添った「永い歴史」を意識した内容を目指し、広告掲載についても新たな協力企業の発掘など、担当理事の努力が随所に見られます。今回の発行部数は66,000部を数え、全国の校友会々員へ「学園と校友会」の現状と活動を伝えたいとの思いを込めております。

校友会報の編集に際して、多くの卒業生、在校生、教職員をはじめ、広告出稿の企業の方々にもご協力を戴きました。ご協力を戴いた関係者の皆様に紙上を借りて厚く御礼を申し上げます。会報の誌面につきまして、ご意見などございましたら下記宛てにご連絡をお願い致します。

早々

校友会常任理事 / 企画・広報部長 三宅 捷 夫 (高校同窓会)
工学院大学校友会 事務局 Email: jimukyoku@kogakuin.or.jp
工学院大学校友会企画・広報部会 Email: kikakukoho-bucyo@kogakuin.or.jp

副部長 佐久間惣喜(専門)

理 事 田村久義(機械)、吉川重克(化学)、名取勝敏(電気)、大場光博(建築)、鈴木敏彦(建築)、
木本勝正(高校)、佐藤敏勝(専門)、

Tokyo Urban Tech 工学院大学 校友会報 vol.132

- 発行日 2011年4月20日 ●発行/ 工学院大学 校友会
- 住 所 163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
電話/03-3342-2064、03-3340-1649 Fax/03-3342-2035
- E-Mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp http://www.kogakuin.or.jp
- 編 集 工学院大学校友会 企画・広報部 ●本文デザイン・印刷/ 研精堂印刷株式会社

住宅ローン、まさか金利だけで 選ぼうとしていませんか？

意外と見落としがちなのは、

完済するまでの総支払い金額。

金利だけでは見えませんが、大きな差があります。

繰上返済したい時、

手数料が掛かる場合があることを、ご存知ですか？

すぐに決めてしまう前に、

「総支払額」を確認してみませんか？



総返済額で

最安値No.1

を目指しています。

多くの工学院大学OBの皆様にお申込いただきました！
誠にありがとうございます！

住宅取得は一生で一番大きい買物です。住宅ローンは何処で借りても住宅の品質には変わりありません。住宅ローンは、主に金利・手数料・保証料等で構成されています。

株式会社 優良住宅ローン
関東財務局長(1)第01443号 【住宅金融支援機構提携金融機関】
<http://www.yuryoloan.jp>

営業 平日 9:00-19:00
時間 土日 10:00-18:00

TEL:03-6457-7472

代表取締役社長 田野邊幸裕
(建築学科1969年卒業)

□ 本社:東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館 5階/TEL:03-6457-7451

■ 神戸支店:兵庫県神戸市中央区京町79番地 日本ビルヂング9階/TEL:078-381-5630 (代)

■ 仙台支店:宮城県仙台市青葉区大町1-2-1 ライオンビル7階/TEL:022-352-6071

契約には「北海道から沖縄まで」出張いたします。

【資本金 5億8千万円】



TOKYO URBAN TECH

工学院大学

工学院大学校友会

<http://www.kogakuin.or.jp>